平成２８年度

事業実績報告書

社会福祉法人　尚生会

創立30周年

社会福祉法人尚生会

〈本　部〉
〒 309－1611
茨城県笠間市笠間 1635-2
TEL 0296－73－5562
FAX 0296－73－5563
URL http://www.shoseikai.com

目　　次

●社会福祉法人尚生会　事業実績報告書…… 1

●特別養護老人ホーム　かさまグリーンハウス　事業実績報告書…… 8

●認知症対応型通所介護センター　かさまグリーンハウス　事業実績報告書……15

●居宅介護支援センター　かさまグリーンハウス　事業実績報告書……18

●認知症高齢者グループホーム（共用型認知症対応型通所介護センター）
　かさまグリーンハウス　事業実績報告書……23

●特別養護老人ホーム　グリーンハウスみと　事業実績報告書……27

●通所介護センター　グリーンハウスみと　事業実績報告書……34

●居宅介護支援事業所　グリーンハウスみと　事業実績報告書……37

●訪問看護ステーション　グリーンハウスみと　事業実績報告書……40

●特別養護老人ホーム　グリーンハウスひたちなか　事業実績報告書……43

●認知症対応型通所介護センター　グリーンハウスひたちなか　事業実績報告書……52

●訪問看護ステーション　グリーンハウスひたちなか　事業実績報告書……55

●訪問入浴介護センター　グリーンハウスとちぎ　事業実績報告書……57

●訪問介護センター　グリーンハウスとちぎ　事業実績報告書……59

●認知症高齢者グループホーム（共用型認知症対応型通所介護センター）
　グリーンハウスとちぎ　事業実績報告書……62

●軽費老人ホーム　ケアハウスかさま　事業実績報告書……66

●介護センター　かさま　事業実績報告書……71

●通所介護センター　グリーンハウスともべ　事業実績報告書……74

●小規模多機能型居宅介護　グリーンハウスやまうち　　事業実績報告書……78

●水戸市常澄高齢者支援センター　事業実績報告書……81

●サービス付き高齢者向け住宅・通所介護　ケアセンターいずみ　事業実績報告書……86

社会福祉法人　尚生会

事業所一覧

		開始年月日
かさまグリーンハウス	特別養護老人ホーム	S63. 4. 14
	認知症対応型通所介護センター	H21. 7. 1
	居宅介護支援センター	H11.10. 1
	認知症高齢者グループホーム	H12. 4. 1
	共用型認知症対応型通所介護センター	H26. 4. 1
グリーンハウスみと	特別養護老人ホーム	H15. 7. 1
	通所介護センター	H15. 7. 1
	居宅介護支援事業所	H16. 5. 1
	訪問看護ステーション	H21. 4. 15
グリーンハウスひたちなか	特別養護老人ホーム	H26. 4. 1
	認知症対応型通所介護センター	H26. 4. 1
	訪問看護ステーション	H27. 5. 1
グリーンハウスとちぎ	訪問入浴介護センター	H12. 7. 1
	訪問介護センター	H13. 12. 1
	認知症高齢者グループホーム	H15. 12. 1
	共用型認知症対応型通所介護センター	H26. 4. 1
ケアハウス	かさま	H10. 6. 2
介護センター	かさま	H11. 4. 1
グリーンハウスともべ	通所介護センター	H17. 5. 1
	介護予防センター	H17. 5. 1
グリーンハウスやまうち	小規模多機能型居宅介護	H19. 4. 1
法人本部		H24. 4. 1
水戸市常澄高齢者支援センター		H27. 4. 1
ケアセンターいずみ	サービス付き高齢者向け住宅・通所介護	H27.10. 1

社会福祉法人尚生会

評議員会・理事会開催録

区分	回数	日時	出席者	内　　容
評議員会	64	H28.5.26 pm6：00 ～	評議員 14 名 監事　　2 名	・平成 27 年度　社会福祉法人尚生会　各会計決算について ・定款の一部改正（案）について ・定款施行細則の一部改正（案）について ・行政官公庁が実施する検査又は、調査の結果及び改正状況について ・理事長専決事項について ・水戸市常澄高齢者支援センター運営業務委託更新について
理事会	119	H28.5.26 pm7：00 ～	理事　　7 名 監事　　2 名	
評議員会	65	H28.12.14 pm6：30 ～	評議員 13 名 監事　　2 名	・平成 28 年度　社会福祉法人尚生会　第 1 次収支補正予算（案）について ・特定個人情報等の適正な取扱に関する基本方針（案）について ・定款の一部改正（案）について ・評議員選任・解任委員会運営細則（案）について（理事会） ・役員等に対する報酬及び旅費規程一部改正（案）について（理事会） ・評議員選任・解任委員の選任（案）について（理事会） ・評議員の推薦（案）について（理事会） ・行政官公庁が実施する検査又は、調査の結果及び改正状況について ・理事長専決事項について
理事会	120	H28.12.14 pm7：30 ～	理事　　7 名 監事　　2 名	
評議員会	66	H29.2.23 pm6：00 ～	評議員 14 名 監事　　2 名	・株式会社ケアネットからの事業譲渡（案）について ・グリーンハウスみと「本館空調設備改修工事」における一般競争入札参加業者の選定及び設計業務委託契約（案）について ・社会貢献積立金・修繕積立金の取り崩し（案）について ・施設長の任免（案）について ・就業規則の一部改正（案）について ・給与規程の一部改正（案）について ・経理規程の一部改正（案）について ・役員等に対する報酬及び旅費規程の一部改正（案）について ・平成 29 年度　社会福祉法人尚生会　事業計画（案）について ・平成 29 年度　社会福祉法人尚生会　予算（案）について ・行政官公庁が実施する検査又は、調査の結果及び改正状況について ・理事長専決事項について ・準職員就業規則の一部改正について ・評議員選任・解任委員会の議事録の提出について（理事会）
理事会	121	H29.2.23 pm7：00 ～	理事　　7 名 監事　　2 名	

尚生会連絡会議録

年月日	回数	出席人数	場　　所	内　　容
H28. 4.22	96	33	尚生会本部 多目的ホール	・事業進行管理　・ISO 進歩状況 ・サービス評価委員会報告
7.21	97	32	尚生会本部 多目的ホール	・事業進行管理　・ISO 進歩状況 ・サービス評価委員会報告
10.20	98	40	尚生会本部 多目的ホール	・事業進行管理　・ISO 進歩状況 ・相談員会議報告
H29. 1.18	99	26	尚生会本部 多目的ホール	・事業進行管理　・ISO 進歩状況 ・相談員会議報告

職員全体研修

年　月　日	場　　所	内　　容
H28. 5.11	尚生会本部 多目的ホール	(採用１年職員対象) ・交通安全について
6. 8	尚生会本部 多目的ホール	(新採用職員対象) ・リスクマネージメント　・「記録」における書き方のポイント ・「コミュニケーション」と「接遇マナー」 ・効果の上がるヒヤリハット活動　・事故対応の重要性
7.10	尚生会本部 多目的ホール	(新採用職員対象) ・利用者と介護職員を守る移乗　・リハビリテーションについて
9.27	茨城県立 県民文化センター	(全職員対象) ・講演　メンタルヘルス
10.18	尚生会本部 多目的ホール	(採用３年職員対象) ・自分を語ろう、未来を創ろう「ナラティブカウンセリング」
11.16	尚生会本部 多目的ホール	(採用３年職員対象) 第１講　介護保険制度と介護報酬の仕組み（概説） ～ケアプランと日常の業務の位置づけ～ 第２講　介護事故における訴訟事例と損害賠償責任 第３講　記録の目的と記入のポイント 第４講　“伝える”と“きく” 第５講　事故対応のポイントとグループワーク ～事故後におけるご家族との対応をとおして～ 第６講　権利擁護と身体拘束
H29. 1.11	尚生会本部 多目的ホール	(採用２年職員対象) ・認知症を知ろう
3. 7	茨城県総合福祉会館	(全職員対象) ・講演　働き方改革

苦情解決状況（意見要望を含む）

月日	件数	事業所	苦情内容	再発防止対策
H28.5.9	1	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ ｸﾞﾘｰﾝﾊｳｽみと	理学療法士のリハビリの際、必要以上に胸の辺りを触られた。 リハビリのやり方が弱く、ただ撫でられて触られている感じがする。	訪問を行った２名の理学療法士に状況のヒアリングを実施したところ、必要以上に触った覚えはないとのこと。同席していたもう１名の職員もそのような状況はなかったとのことであった。しかし同席していた父は触られたとおっしゃっているため、担当理学療法士の指導を行い、訪問の曜日を変更させて頂き、担当理学療法士の変更の対応を行った。

6.22	1	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ ｸﾞﾘｰﾝﾊｳｽみと	ベッド上でのリハビリの施行がマッサージのようで効果が感じられない。関節の可動域が以前よりも狭くなっている。リハビリの内容を考えてもらいたい。 移乗動作、介助動作を見ていて不安で目が離せない。注意力が散漫で安心できない。	ご自宅へ訪問し話を伺い今後の対応を話し合った結果、担当者変更とした。 今後のサービスへ配慮するよう指導を行い、事業所での勉強会を実施していきスキルアップを行っていく。
7.11	1	グリーンハウス ひたちなか	負担限度額認定を受けているにも関わらず、通常料金の請求になっていた。 短期入所生活介護利用の送迎が家族送迎にも関わらず、送迎加算を徴収している日があった。 退所日の利用状況報告について、他利用者の居室に入ってしまうことで本人がトラブルメーカーのように報告を受けた。	①負担限度額認定証の確認について ・ケアマネージャーからの情報提供時に負担限度額段階の確認（負担割合も含む）を行う。 ・事前調査及び契約時に該当の有無の確認を行いサービス利用書に署名捺印を頂く。 ・PC ソフト入力者にケアマネージャーから頂いた情報提供書及び事前に頂いているサービス利用書を提示し確認する。（入力者の確認印をもらう） ②サービス利用状況の実績確認について ・従来日勤者が入力していた介護日誌とは別に、夜勤者が当日の利用状況（入退所時間や送迎の有無）をチェックリストに記入する。 ・月末に介護日誌とチェックリストの照合確認をユニットと事務所双方で行う。（ダブルチェック） ③ご家族への利用状況報告について ・利用前の事前調査の段階でご本人の状態確認を行い、それに対するケアの内容を職員に周知する。 また、ご本人を取り巻く介護者の状況にも目を配り、利用目的やその他ご要望を事前に確認しておく。 ご利用中のご様子についてはご家族が求めている内容の報告のほかリスクを伴う恐れのあることに関しては事前に担当ケアマネジャーにも確認をしながらご家族が納得のいくよう説明を行う。

広報誌「グリーン情報」発行録

号数 発行日	内　　容
臨時号 H28.4.25	尚生会　健康プラン 21
統合第 26 号 H28.9.25	苦情解決状況・社会貢献活動・ご寄付ありがとうございました 尚生会健康プラン 21 骨盤矯正体操・決算報告・ボランティアさんありがとう
統合第 27 号（最終号） H29.1.25	新年のご挨拶・「介護の日」作文コンクール・大掃除ボランティアありがとうございます 永年勤続表彰・尚生会健康プラン 21 骨盤矯正体操・ボランティアさんありがとう

有資格者数

事業所		社会福祉士	介護支援専門員	介護福祉士	社会福祉主事	看護師	訪問介護員(初任者研修修了者含)	ＰＴＯＴ
かさま	本部	0	4	3	4	0	4	0
	介護老人福祉施設	0	3	13	2	3	12	0
	通所介護ｾﾝﾀｰ	0	3	4	1	1	3	0
	居宅介護支援ｾﾝﾀｰ	0	6	4	1	0	4	0
	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	0	1	5	1	0	5	0
	ｹｱﾊｳｽ	0	2	3	1	0	2	0
	介護ｾﾝﾀｰ	1	0	5	0	0	11	0
	通所介護ｾﾝﾀｰ（ともべ）	0	1	9	2	3	5	0
	ｻｰﾋﾞｽ付き高齢者住宅（いずみ）	0	1	1	1	0	2	0
	通所介護ｾﾝﾀｰ（いずみ）	0	1	1	0	1	2	0
みと	介護老人福祉施設	1	4	20	4	4	31	0
	通所介護ｾﾝﾀｰ	0	2	6	0	1	4	0
	居宅介護ｾﾝﾀｰ	0	3	3	0	0	0	0
	高齢者支援ｾﾝﾀｰ	2	1	1	2	0	2	0
	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ	0	1	1	0	6	0	6
ひたちなか	介護老人福祉施設	2	6	22	5	4	22	0
	通所介護ｾﾝﾀｰ	0	2	5	0	0	0	0
	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ	0	1	1	1	3	0	2
とちぎ	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	0	2	10	1	1	8	0
	介護ｾﾝﾀｰ	0	2	3	0	0	7	0
	訪問入浴	0	1	2	0	2	2	0
	小規模多機能型居宅介護（やまうち）	0	2	4	1	1	6	0
合　計		6	49	126	27	30	132	8

（重複者含む）

ボランティアポイント獲得状況

ポイント数 / 施設	１～５	６～１０	１１～１５	１６～２０	２１～２５	２６～３０	３０以上
かさま グリーンハウス	2	3	4	0	1	0	0
グリーンハウス みと	12	6	38	0	0	0	0
グリーンハウス ひたちなか	0	1	2	0	1	0	0
ケアハウス	1	6	1	2	2	0	0

ポイント数 / 施設	１～５	６～１０	１１～１５	１６～２０	２１～２５	２６～３０	３０以上
グリーンハウス とちぎ	31	0	0	0	0	0	0
グリーンハウス やまうち	38	0	0	0	0	0	0
ケアセンター いずみ	0	4	0	0	0	0	0
合計	84	20	45	2	4	0	0

※ボランティアポイント制度
【基本方針】　ボランティア精神を尊重し、地域と施設の連携を図る
【目　　的】　ボランティア活動による入居者サービスの向上
【期　　間】　毎年４月１日～翌年３月31日の１年間
【活動内容】　ボランティア活動、１時間につき１ポイントとして、年間上限50ポイント
　　年間獲得ポイントに応じて粗品を贈呈致します。

障害者雇用状況

事業所	人数	内容
かさまグリーンハウス	２名	Ｈ２０．６．２採用（８年９カ月）
		Ｈ２５．５．２０採用（３年１０カ月）
ケアハウスかさま	１名	Ｈ２３．４．１採用（６年）
グリーンハウスみと	２名	Ｈ２４．４．１採用（５年）
		Ｈ２６．４．１採用（３年）
グリーンハウスひたちなか	２名	Ｈ５．４．１採用（２４年）
		Ｈ２６．４．１採用（３年）
合計	７名	

実習生受入れ状況

学校名 / 施設		かさま	みと	ひたちなか	訪看みと
茨城県立中央看護専門学校	延べ人数	48	0	0	0
	実人数	8	0	0	0
茨城県立那珂湊高等学校	延べ人数	0	30	0	0
	実人数	0	2	0	0

学校名＼施設		かさま	みと	ひたちなか	訪看みと
茨城県社会福祉協議会	延べ人数	0	10	0	0
	実人数	0	2	0	0
介護労働安定センター	延べ人数	0	4	0	0
	実人数	0	2	0	0
大原医療福祉専門学校	延べ人数	0	0	9	0
	実人数	0	0	1	0
茨城キリスト教大学	延べ人数	0	0	50	0
	実人数	0	0	10	0
茨城大学	延べ人数	0	0	20	0
	実人数	0	0	4	0
常磐大学	延べ人数	0	0	15	0
	実人数	0	0	3	0
津田塾大学	延べ人数	0	0	5	0
	実人数	0	0	1	0
白鳳大学	延べ人数	0	0	5	0
	実人数	0	0	1	0
大成女子高等学校	延べ人数	0	0	0	16
	実人数	0	0	0	2
学校法人八文字学園 水戸看護福祉専門学校	延べ人数	0	0	0	64
	実人数	0	0	0	8
合計	延べ人数	48	44	104	80
	実人数	8	6	20	10

処遇改善加算金

支給日	支給対象事業所	支給延人数	合計支給額
H28.9.15 H29.1.15 3.15	かさま：介護老人福祉施設、通所介護センター グループホーム、訪問介護、訪問入浴 とちぎ：グループホーム、介護センター、訪問入浴 み　と：介護老人福祉施設、通所介護センター ともべ：通所介護センター やまうち：小規模多機能型居宅介護 ひたちなか：介護老人福祉施設、通所介護センター	550	63,457,512 円

地域貢献活動

班	日程	人数	内容	場　　所
1	H28. 4.23	6	ゴミ拾い	本部周辺
2	6. 5	6	ゴミ拾い	本部周辺
3	9.17	24	骨盤矯正体操	本部
4	10.22	5	ゴミ拾い	グリーンハウスともべ周辺
5	11.19	24	骨盤矯正体操	本部
6	12.17	22	骨盤矯正体操	本部
7	12.18	5	笠間市ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ	笠間市内
8	H29. 1.21	20	骨盤矯正体操	本部
9	2.18	22	骨盤矯正体操	本部
10	2.19	6	ゴミ拾い	ケアハウス周辺
11	3.18	18	骨盤矯正体操	本部
合計			158 人	

年間サービス実施目標〈尚生会本部〉

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
各施設・事業所と連携・訪問し事務の軽減・効率化を目指す。(効率化できた件数　S：5件　A：4件　B：3件　C：2件　D：1件)	S	S	S	S	S
経費削減の徹底を図る。(前年同月比で削減できた件数　S:5件　A:4件　B:3件　C：2件　D：1件)	S	A	S	S	A
総括事務処理予定表に沿って業務を行い、進歩状況の報告（締日）をし、ノー残業デイの徹底（火・木）を図る。(3ヵ月で徹底できた日数　S：24日以上(全日)　A：23～20日　B：19～16日　C：15～12日　D：11日以下)	S	S	S	A	A
各施設、事業所へ財務状況を周知、理解を促し具体的対応策による指導を行うことで黒字化を図る。(黒字化事業所割合　S：100%　A：80%以上　B：60%以上　C：40%以上　D：40%未満)	A	B	A	B	B
離職者防止の為、就業意欲向上に繋がる法人研修の開催と時には、本部人事担当者による面談を行う。(3ヵ月の離職者数　S：0人　A：1人　B：2人　C：3人　D：4人以上)	D	D	D	D	D
毎月末、各施設の職員不足数の確認と求人票の確認を行い、ハローワークに求人票を提出するのと同時に3ヵ月毎の更新実施。(求人業務の遅延　S：遅延なし　A：遅延1日　B：遅延2日　C：遅延3日　D：遅延4日以上)	D	B	A	B	B

【総括】

(総務課)

今年度は時間生産性の向上を目指して、目標を設定しました。

各事業所からの意見を参考にし、事務連絡を活用して、業務を段取りよく進行させることができました。今後も今までの方法にとらわれず、業務改善・省力化を図っていきたい。

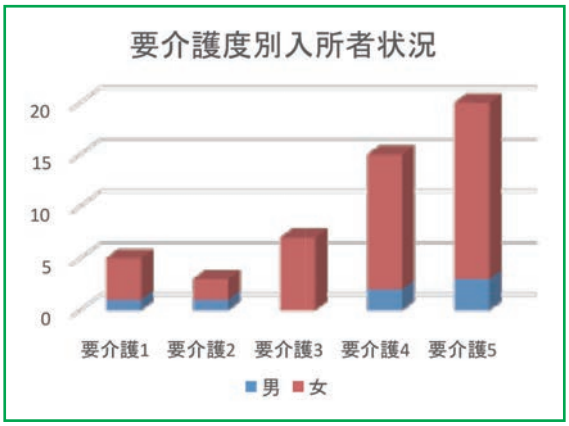
(企画課)

各施設の職員不足、補充の際には遅延することなくハローワークと連携を図りながら行っていきたい。また新卒者の採用に関しても早めに学校訪問するなど、学校側とも連携を図りたい。今後も職員の教育と働き方改革にも力を入れ、尚生会の活力の更なる向上を図りたい。

特別養護老人ホーム　かさまグリーンハウス

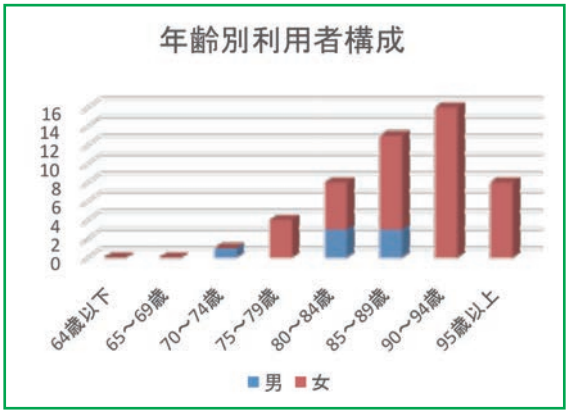
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	1	1	0	2	3	7
女	4	2	7	13	17	43
計	5	3	7	15	20	50
平均介護度	3.84					



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	0	3	3	0	0	7
女	0	0	0	4	5	10	16	8	43
計	0	0	1	4	8	13	16	8	50



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	89	72	82.5
女	101	77	89.5
全体	101	72	88.5

市町村別利用者状況

性別＼市町村	笠間市	桜川市	筑西市	城里町	合　計
男	5	1	0	1	7
女	37	0	1	5	43
計	42	1	1	6	50

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J　1	J　2	A　1	A　2	B　1	B　2	C　1	C　2	
男	0	0	0	0	1	4	0	1	1	7
女	0	1	0	2	2	21	4	4	9	43
計	0	1	0	2	3	25	4	5	10	50

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	合　計
男	1	0	0	1	1	0	4	0	7
女	0	2	1	2	7	5	26	0	43
計	1	2	1	3	8	5	30	0	50

主な行事内容

５月　青空昼食会

７月：夕涼み花火会

９月　敬老祝賀会

10 月：出張デパート

※その他、花見ドライブ、クリスマス会、お菓子作り等を定期的に行なっております。

季節の行事食

桜えびご飯

麦とろ御膳

こいのぼりクレープ

七夕そうめん

ちらし寿司

オムライス

和スイーツバイキング

赤飯

余暇活動状況

内　　容	年間 実施回数	年間 延参加人数	実施内容
書道クラブ	11	80	書道の先生にご指導いただきながら、季節の言葉を書いていただきました。
生花クラブ	22	153	生花の先生にご指導いただきながら、季節の花や植物を生けていただきました。
茶道クラブ	12	90	茶道の先生にご指導いただきながら、作法の練習を行いました。
音楽クラブ	6	154	季節の歌や童謡などを歌ったり、楽器を演奏しました。また、入所者様の誕生会を行いました。
ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ ｸﾗﾌﾞ	6	117	ボールや風船を使用して、体や頭を使ったレクリェーションを行いました。

ボランティア受入状況

月	延人数	内　　容	月	延人数	内　　容
4	28	書道、生花、茶道、レク、音楽	10	15	書道、生花、茶道、レク、買い物
5	12	書道、生花、茶道、レク、買い物	11	9	書道、生花、茶道、買い物
6	21	書道、生花、茶道、レク、音楽、 買い物	12	18	書道、生花、茶道、レク、清掃
7	13	書道、生花、茶道、レク、買い物	1	26	書道、生花、茶道、レク、音楽、 清掃
8	12	書道、生花、茶道、レク、買い物	2	5	書道、生花、茶道
9	12	生花、茶道、音楽、買い物	3	10	書道、生花、茶道、レク

会議・委員会

	年間 実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	200	ケース検討、行事検討、身体拘束廃止、サービス向上、看取りケア、勉強会
主任会議	7	51（市職員 4）	入所検討委員会、感染症対策、他職種間連絡事項
サービス 担当者会議	12	167	介護サービス計画の作成・評価、安全対策
給食会議	12	96	入所者の喫食状況、献立・調理内容の確認、 調理員会議

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 5.10	塙　美紀	水戸市福祉ボランティア会館	嚥下食実践セミナー
6. 8	根矢　千秋	水戸医療センター	看護公開講座
6.15	林　圭子	茨城県総合福祉会館	平成28年度茨城県老人福祉施設協議会総会
6.21	長谷川　崇	県民文化センター	平成28年度介護サービス施設･事業所管理者研修会
6.29	林　圭子	茨城県総合福祉会館	政治連盟総会･講演会
7. 4	長谷川　崇	茨城県総合福祉会館	県央地区ケアマネージャー･生活相談員研究会

8.17	林　圭子	茨城県総合福祉会館	施設長･管理者研修
8.22 8.23	志田　華琳	茨城県総合福祉会館	コーチング研修
8.23	塙　美紀	那珂市総合センター	給食施設調理従事者研修会
9. 5	大久保　ゆかり	茨城県総合福祉会館	アクティビティ･ワーカー養成研修
9. 7	根矢　千秋	水戸医療センター	看護公開講座
9. 9	林　圭子	茨城県総合福祉会館	施設長･管理者研修
9.13	武田　歩	つくば研究支援センター	女性リーダースキルアップセミナー
9.13 9.14	菅谷　ひとみ	霞ヶ浦環境科学センター	職場内研修担当者養成研修
9.26 9.27	八源寺　寛之	茨城県総合福祉会館	ＯＪＴマネジメント力向上研修
9.28	奥田　栄子	茨城県看護研修センター	看護師職能委員会Ⅱ研修
9.29	塙　美紀	茨城県立健康プラザ	給食施設調理従事者研修会
10. 5	根矢　千秋	水戸医療センター	看護公開講座
10. 7	根矢　千秋	茨城県メディカルセンター	水戸医療圏認知症学術講演会
10. 7	横山　とし子	茨城県メディカルセンター	水戸医療圏認知症学術講演会
10.14 10.21	田上　沙弥加	茨城県立健康プラザ	アンガーマネジメント研修
10.19	菅谷　ひとみ	常陽つくばビル	お客様の怒りを笑顔に変える！クレーム対応講座
10.26	奥田　栄子	茨城県看護研修センター	看護実践者研修Ⅰ
10.31	八源寺　寛之	茨城県建設技術管理センター	医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等研修
11. 2	鬼澤　美穂	茨城県建設技術管理センター	医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等研修
11. 6	横山　とし子	茨城県歯科医師会会館	人生最後の食支援の実際
11. 9	鈴木　陽子	笠間市友部公民館	医療･福祉に活かすコミュニケーション技術
11. 9	奥田　栄子	茨城県看護研修センター	看護実践者研修Ⅱ
11.14 11.15	鈴木　陽子	茨城県職業人材センター	相談援助業務担当者研修
11.15	志田　華琳	笠間市社会福祉協議会笠間支所	施設見学会
11.27	菅谷　ひとみ	水戸市福祉ボランティア会館	ＤＶ･性暴力被害者によりそう支援Ⅰ
11.29 11.30	八源寺　寛之	茨城県看護研修センター	クレーム対応力強化研修
12. 4	菅谷　ひとみ	水戸市福祉ボランティア会館	ＤＶ･性暴力被害者によりそう支援Ⅱ
12. 5	菅谷　ひとみ	茨城県薬剤師会館	女性のためのモチベーションＵＰ講座
12. 7	長谷川　崇	茨城県開発公社ビル	福祉施設の地震･水害等災害対策マニュアル作成セミナー

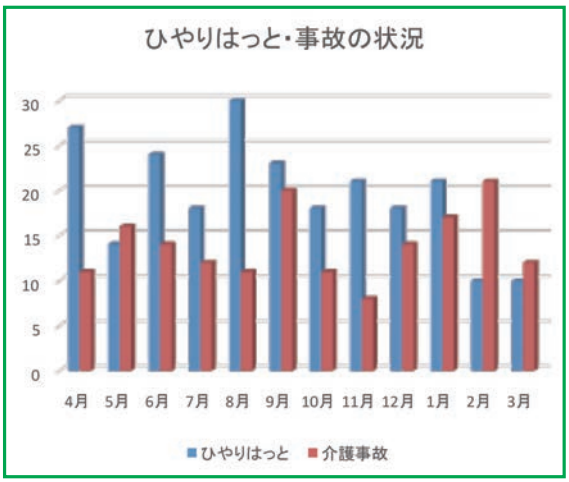
12.11	菅谷　ひとみ	水戸市福祉ボランティア会館	ＤＶ･性暴力被害者によりそう支援Ⅲ
12.16	鈴木　陽子	茨城県建設技術管理センター	医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等研修
H29.1.20	横山　とし子	茨城県総合福祉会館	看取りケア研修会
1.30	長谷川　崇	笠間市友部社会福祉会館	笠間市協働事業研修(防犯対策について)
1.30	菅谷　ひとみ	笠間市友部社会福祉会館	笠間市協働事業研修(防犯対策について)
2.10	根矢　千秋	岩舟文化会館	Ｄケアセミナー
2.10	塙　千尋	岩舟文化会館	Ｄケアセミナー
2.13	横山　とし子	茨城県看護研修センター	看護師のクリニカルラダー活用に向けて
2.15	長谷川　崇	茨城県総合福祉会館	介護ロボット導入支援のための展示体験及び研修会
2.24	塙　美紀	茨城県総合福祉会館	社会福祉施設等給食担当職員研修
2.24	小薬　猛	茨城県総合福祉会館	社会福祉法人　管理･代表者研修
3. 2	横山　とし子	茨城県総合福祉会館	福祉施設のターミナルケアにおける看護師の役割
3. 8	大久保　ゆかり	茨城県総合福祉会館	腰痛予防講演会
3.14	石川　美子	ホシザキ北関東株式会社	福祉施設病院向けセミナー(アンチエイジングと嚥下食について)
3.23	林　圭子	茨城県総合福祉会館	特別養護老人ホーム部会･平成28年度茨城県老人福祉施設協議会総会
3.28	鈴木　美由紀	笠間市友部社会福祉会館	職場のメンタルヘルス

地域貢献事業

年　月　日	参加人数	内　　容
H28. 6. 5	4	福田地区クリーン作戦
7. 7	2	車椅子体験（笠間小学校 4 年生 140 名）
10.22	3	友部地区（グリーンハウスともべ周辺）ゴミ拾い
11.12	2	かさまキッズモール 2016　介護士体験
H29 .2.19	2	石井地区（ケアハウスかさま周辺）ゴミ拾い
3.23	2	尚生会版介護初級講座（岩瀬高校 24 名）

ひやりはっと・事故の状況

月 / 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	27	14	24	18	30	23	18	21	18	21	10	10
介護事故	11	16	14	12	11	20	11	8	14	17	21	12



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28.4.11	8	人間関係について	10.14	16	高齢者の尊厳を守る③
4.11	5	医療面について	11.14	16	スキンケアについて
5.11	12	高齢者の尊厳を守る①	12.12	12	高齢者の栄養・摂食・嚥下ケアについて
6.13	10	救急法について	H29. 1.12	13	高齢者の尊厳を守る④
8. 8	15	高齢者の尊厳を守る②	2.10	15	尿路感染症について
9.12	17	味感学について	3. 9	14	認知症について

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
法人理念・基本方針を踏まえ、入所者の要望や改善等に対する対応策の状況報告を受け、併せて財務状況(各期の資金・事業収支）について周知、理解を促し、適正な施設運営管理を推進する。(実施回数　S：5回　A：4回　B：3回　C：2回　D：1回以下)	A	A	A	S	A
各部署の目標に則した研修の機会を提供し、成果を勉強会等を通して共有することにより介護職員の資質向上に努める。(S：研修からの業務改善　A：研修報告会から各職員の行動改善　B：研修報告会による情報共有　C：研修の参加　D：研修の不参加)	A	A	S	S	A
『入所者の尊厳ある暮らし』を実現させるために、定期的に高齢者の尊厳に関する勉強会や研修等を行い、職員間で知識や情報の共有を図る。(職員の理解度　S：100％　A：80％　B：60％　C：40％　D：40％以下)	A	A	A	A	A
『個別行事の計画実施』、『身体拘束廃止』、『転倒事故削減』等各階の年間目標を達成させることにより、入所者の生活の質を維持・向上させる。(目標達成率　S：100％　A：70％以上　B：50％以上　C：31％以上　D：30％以下)	C	B	A	A	B
次期入所者への連絡調整や新規入所者の早期入所の対応、入所者の入院率を下げることにより、入所稼働率９４％を目指す。(入所稼働率　S：94％以上　A：92～94％　B：90～92％　C：88～90％　D：88％未満)	B	B	B	S	B
医療機関との連携を図り、関係部署との情報共有を図ることで看取りケアの体制を整える。(会議等実施回数　S:4回　A:3回　B:2回　C:1回　D:0回)	A	A	A	B	B
日頃の環境整備や手洗い、うがい、マスク等の徹底を図り、インフルエンザやノロウィルス等の感染症を防止する。(感染者　S:0人　A:1～2人　B:3～4人　C：5～6人　D：7人以上)	S	S	A	A	A
食事摂取量不良等の高リスク者に対して、低栄養状態を改善するため、他職種と話し合いモニタリング･評価を行う。(モニタリング･評価の実施状況　S:100％　A：80% 以上　B：60% 以上　C：40% 以上　D：40% 未満)	S	A	S	A	A
旬の食材を使った新メニューや行事食、スチームコンベクションオーブンを活用するメニューを献立に取り入れ、ＳＮＳ等を利用して外部へ発信する。(S：発信できた　　D：発信できなかった)	S	S	S	S	S

短期入所生活介護利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
目標	282	291	282	291	291	282	291	282	291	291	272	291	3,437
平均	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4	9.4
実績	292	285	289	276	298	281	310	274	288	279	278	273	3,423
平均	9.7	9.2	9.6	8.9	9.6	9.4	10.0	9.1	9.3	9.0	9.6	8.8	9.4

【総括】

（介老）

平成 28 年度は、『高齢者の尊厳』について職員に対する勉強会を行ない、権利擁護や虐待、尊重すること・尊厳を守ることの意味等について知識の向上を図りました。また、事例検討やグループワークを通して、自らの行動の振り返りや介護職員としてすべきこと、尊厳を守ることについて情報の共有を図りました。年間を通して一つのテーマを重点的に検討することができ、入所者や利用者に対する私達の関わり方やチームケアの大切さを再確認できました。

入所者状況については、重度化が進み、入所期間中に経管栄養へ移行になる方が増加しており、栄養管理や喀痰吸引、感染症のリスク等、医療面の知識や技術を向上させることが今後の課題となります。医療機関や他職種連携を図りながら施設での生活を安心して生活できるよう努めてまいります。

（短期）

平成 28 年度は、昨年度に引き続きロングのショートを希望される方が多く、入院者の空きベッド利用など柔軟な受け入れを行なうことができました。在宅で生活されている方の中には、医療依存度が高く訪問看護を利用されている方や、病院から退院を勧められている方の受け入れ等、医療機関等との関わりもさらに増えていくことが予想されます。今後、医療機関等との連携強化も視野に入れながら、医療依存度の高い利用者の受け入れ体制の整備を行なって参ります。

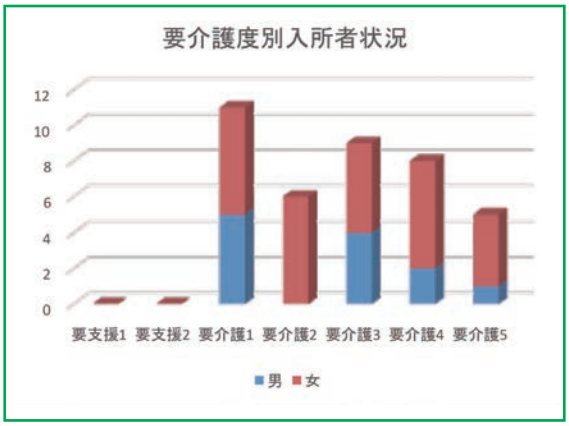
（地域との関わりについて）

福田地区のクリーン作戦や市内のゴミ拾い等を定期的に行なうことができました。また、市内の小学生や、高校生を対象とした車椅子体験やシルバーキットを使用した高齢者体験を実施しました。

認知症対応型通所介護センター　かさまグリーンハウス

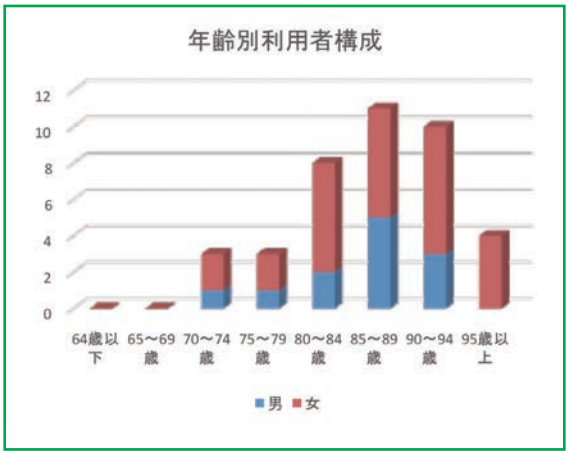
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	5	0	4	2	1	12
女	0	0	6	6	5	6	4	27
計	0	0	11	6	9	8	5	39
平均介護度	2.74							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	1	2	5	3	0	12
女	0	0	2	2	6	6	7	4	27
計	0	0	3	3	8	11	10	4	39



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	92	74	83
女	96	72	84
全体	96	72	83.5

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合　計
男	0	0	7	0	5	0	0	0	12
女	0	0	7	4	12	2	2	0	27
計	0	0	14	4	17	2	2	0	39

主な行事内容

5月　母の日外食
（大洗）

6月　父の日外食
（笠間市内）

2月　節分祭
（恵方巻作り）

3月　観梅
（水戸偕楽園）

会議

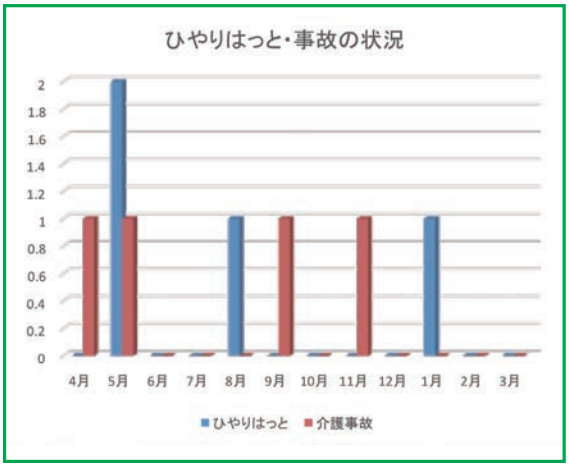
	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	78	安全対策、個別ケア、業務連絡、伝達事項等

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 7. 5	大津富三弘	茨城県立県民文化センター	安全運転管理者研修
7.16	松本智美	小山商工会議所	認知症ｹｱ学会　事例検討会
8. 3	深作紀子	水戸医療センター	看護公開講座
10.18	大津富三弘	茨城県開発公社ビル	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力強化ｾﾐﾅｰ
H29. 1. 9	大津富三弘	グリーンハウスともべ	介護予防指導者向け筋力ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾐﾅｰ
2.11 ～ 12	大津富三弘	日本笑いヨガ協会	笑いヨガリーダー養成講座
1.30	大津富三弘	笠間市友部社会福祉会館	防犯対策について
2.16	松本智美	かさまグリーンハウス	認知症ｹｱ専門士　動画講座①
2.17	松本智美	かさまグリーンハウス	認知症ｹｱ専門士　動画講座②
2.21	大津富三弘	笠間市友部公民館	魅力ある施設経営：介護マネージメント

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
介護事故	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.15	5	個別ケアについて	11. 8	6	感染症対策について
5.12	5	事例検討	11. 8	6	危険予知トレーニング
6.13	5	救急法	12.14	6	新年の行事について
7.13	5	介護技術演習（移乗・着脱）	H29. 2.17	4	認知症ｹｱ専門士（講義動画）
8.10	6	入浴体験	2.17	4	笑いヨガについて
10.26	6	行事について	3. 9	5	認知症勉強会

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
利用率向上と安定化を図る為、法人内事業所間で連携をとり、また、居宅・地域へのＰＲ活動を行い、利用者確保に努める。（3ヶ月間で　S：4人以上　A：3人　B：2人　C：1人　D：0人）	B	B	S	S	A
毎月、季節感を味わっていただく為に、外出行事や旬の食材を使用した料理・おやつ作り、工作物作成（3ヶ月で　S：4回以上　A：3回　B：2回　C：1回　D：0回）	A	A	A	A	A
認知症ケアに関する専門知識を身に付ける為、法人内事業所間での定期的な研修・勉強会を実施し、より充実したサービスの提供に努める。（3ヶ月間で　S：4回以上　A：3回　B：2回　C：1回　D：0回）	A	A	A	A	A

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	227	227	227	227	227	227	227	226	226	226	226	227	2,720
実績	240	261	260	246	243	238	210	223	220	207	226	256	2,830

【総括】

今年度の全体的な総評といたしまして、認知症ケアを充実させる為に、認知症に関する勉強会や研修をより多く取り入れてきました。各職員が利用者様の気持ちを理解する為に利用者体験や事例検討会を行って認知症に対する意識を高めて、認知症症状の緩和につなげていきました。また、利用者様に喜んでいただく為に、四季折々の行事や個別の希望に沿った行事を行ってまいりました。今後も、ご利用者様の要望に沿った支援や少しでも認知症介護をしているご家族様の負担を軽減できるよう努めてまいります。

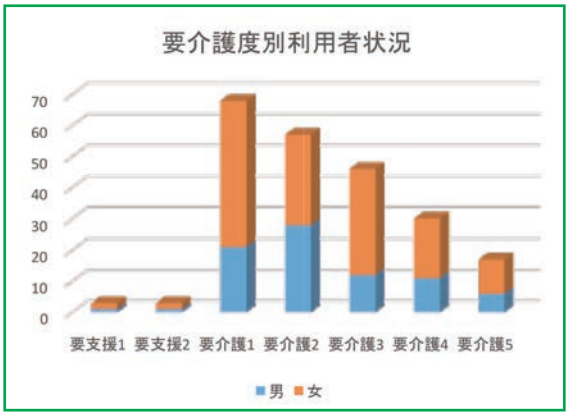
居宅介護支援センター　かさまグリーンハウス

居宅介護支援、介護予防支援利用者

地区＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
市町村	笠間市	175	171	170	168	162	164	162	165	160	151	156	159	1,963
	城里町	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	23
	水戸市	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28
	日立市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	桜川市	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
	鉾田市	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
	小美玉市	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	4
	栃木県	42	46	48	46	49	47	46	46	45	46	46	46	553
	東京都	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	その他県外	3	3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	53
合計		230	230	232	228	225	229	226	229	223	214	220	224	2,710

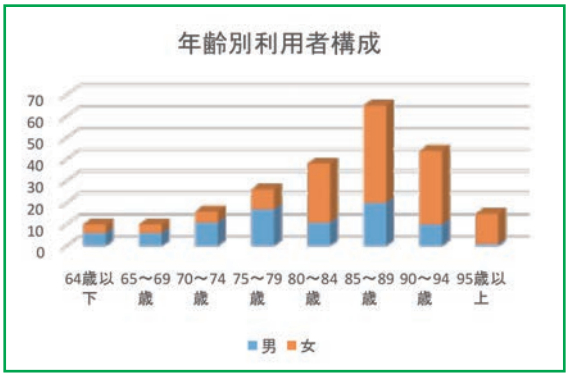
要介護度別利用者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	1	21	28	12	11	6	80
女	2	2	47	29	34	19	11	144
計	3	3	68	57	46	30	17	224
平均介護度	2.38							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	6	6	11	17	11	20	10	1	82
女	4	4	5	9	27	45	34	14	142
計	10	10	16	26	38	65	44	15	224



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	100	59	79.5
女	99	54	76.5
全体	100	54	78

会議等参加状況

年月日	参加者	場　　所	会議名	内　　容
H28. 4.14	和田智恵・山本義則	友部公民館	第1回地域包括ケア会議	ケア会議で挙がった地域課題の提言・事例検討
4.26	和田智恵	地域包括支援センター	第1回かさまケアマネ会運営委員会	平成28年度活動内容について
5.12	塙友美子・斉藤敦子	笠間公民館	第2回地域包括ケア　会議	事例検討「精神疾患の陰性症状が強い事例」
5.16	和田智恵	地域包括支援センター	第2回かさまケアマネ会運営委員会	研修会について
5.16	菊地めぐみ	市貝町役場	市貝町地域ケア会議	平成28年度活動内容について
5.23	山本義則	笠間市役所本庁	笠間市地域包括ケアシステムネットワーク実務者会議	講話「認知症サポート医の役割について」 認知症サポーター養成講座について
6. 9	和田智恵・友常春美	岩間支所	第3回地域包括ケア　会議	消費生活センターについて 事例「金銭問題で困っている事例」
6.17	和田智恵	笠間市役所本庁	介護健診ネットワークシステム検討委員会	介護健診ネットワークについて
7.11	和田智恵	地域包括支援センター	第3回かさまケアマネ会運営委員会	総会、研修会の振り返りと今後の研修について
7.14	山本義則・塙由美子	友部公民館	第4回地域包括ケア会議	会議の検討事例から「地域の課題を見つけよう」 グループワーク
8.17	和田智恵	地域包括支援センター	かさまケアマネ会臨時運営委員会	かさまケアマネ会研修会について
8.18	和田智恵・友常春美	笠間公民館	第5回地域包括ケア会議	高齢者医療について
9. 8	塙友美子・斉藤敦子	岩間支所	第6回地域包括ケア会議	講話「かかりつけ薬剤師について」 事例検討「同居する家族が服薬管理できない事例」「電話をかけまくり自分の主張を繰り返す事例」
9. 9	和田智恵	地域包括支援センター	第4回かさまケアマネ会運営委員会	ケアカフェの振り返りと次回研修会について
9.28	斉藤敦子	コンフォルトかさまグループホーム	コンフォルトかさまGH運営推進会議	入居者状況・行事報告など
9.15	菊地めぐみ	益子町役場	益子町ケアマネ連絡会	益子町の介護保険についてのグループワーク
10.13	塙友美子・友常春美	友部公民館	第7回地域包括ケア会議	講話「認知症医療センターについて」 事例検討「精神障害が疑われるケース」
10.19	和田智恵	友部公民館	介護予防・総合事業　説明会	笠間市の介護予防・日常生活支援総合事業について
10.25	和田智恵	地域包括支援センター	第5回かさまケアマネ会運営委員会	かさまケアマネ会研修会について

11.28	和田智恵	コンフォルトかさまグループホーム	コンフォルトかさまGH運営推進会議	入居者状況・行事報告など
11.10	山本義則・斉藤敦子	友部公民館	第8回地域包括ケア会議	会議の検討事例から「地域の課題を見つけよう」グループワーク
12. 8	和田智恵・友常春美	岩間支所	第9回地域包括ケア会議	リハビリについて
12.13	和田智恵	地域包括支援センター	第6回かさまケアマネ会運営委員会	来年度の事業計画について
H29. 1.26	和田智恵	コンフォルトかさまグループホーム	コンフォルトかさまGH運営推進会議	入居者状況・行事報告など
1.12	山本義則・斉藤敦子	友部公民館	第10回地域包括ケア会議	講話「結核・難病について」 事例検討「猫屋敷で暮らすひとり暮らしの女性の事例」
2. 3	菊地めぐみ	茂木町役場	茂木町合同研修会	講話「高齢者虐待の基本的な事項と対応を考える」
2.16	菊地めぐみ	益子町役場	益子町ケアマネ連絡会	弁護士による講話
2.17	塙友美子・斉藤敦子	県立中央病院	県央地区ソーシャルワーカー勉強会	事例検討「精神疾患と身体疾患のある患者の退院支援について」
2.20	和田智恵	地域包括支援センター	第7回かさまケアマネ会運営委員会	来年度の事業計画について
3. 8	菊地めぐみ	益子町駅舎2階多目的ホール	芳賀北部4町在宅医療連携整備促進事業	医師とケアマネジャーとの会議 地域の医師とケアマネジャー連携をとる為の意見交換
3. 9	和田智恵・斉藤敦子	岩間支所	第11回地域包括ケア会議	会議の検討事例から「地域の課題を見つけよう」グループワーク
3.21	和田智恵	地域包括支援センター	第8回かさまケアマネ会運営委員会	来年度の運営について
3.23	和田智恵	笠間市役所本庁	介護健診ネットワークシステム検討委員会	介護健診ネットワークについて
3.24	斉藤敦子	コンフォルトかさまグループホーム	コンフォルトかさまGH運営推進会議	入居者状況・行事報告など
3.28	菊地めぐみ	もてぎの森ギャラリーふくろう	介護保険住宅改修等研修会	茂木町　介護保険住宅改修等研修会

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 4.21	山本義則・友常春美	茨城県庁	認定調査員研修
5.13	山本義則・友常春美	市町村会館	認定調査員研修
5.27	山本義則・和田智恵	社協　友部	ケアカフェ
5.27	斉藤敦子	社協　友部	認知症サポーター講座（寸劇）

6.15	和田智恵・塙友美子 斉藤敦子・友常春美	友部公民館	かさまケアマネ会総会・研修会
6.18	和田智恵・塙友美子 斉藤敦子	笠間公民館	認知症講演会
7.11	斉藤敦子	社協　友部	認知症サポーター講座（寸劇）
7.23 ～ 24	友常春美	小美玉生涯研修 センターコスモス	障害者相談支援従事者初任者研修
8.26	和田智恵・山本義則 塙友美子	笠間陽だまり館	ケアカフェ
10.22	菊地めぐみ・斉藤敦子	真岡市大内農業 センター	芳賀地区介護支援専門員研修会 「対人援助能力の向上を目指す」
11. 9	全員	友部公民館	かさまケアマネ会研修会 医療・福祉現場で活かせるコミュニケーション講演会
11.18	全員	笠間市役所　本庁	かさまケアマネ会研修会 プラン点検について（グループワーク）
12.17	友常春美	県建設技術管理研修 センター	障害者相談支援従事者初任者研修
H29.1.19 ～ 20	友常春美	県建設技術管理研修 センター	障害者相談支援従事者初任者研修
2.24	塙友美子・斉藤敦子	宍戸苑	ケアカフェ
3.14	和田智恵・斉藤敦子	ケアレジデンスかさま	認知機能の低下予防プログラム体験会
3.16	和田智恵・塙友美子 斉藤敦子・友常春美	友部公民館	かさまケアマネ会研修会 在宅酸素療法と呼吸理学療法の実際

サービス提供会議（毎月４回開催）・勉強会

年　月　日	内　　容
H28. 4	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・介護保険での病院内介助について
5	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・食事の摂取について
6	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・笠間市介護健診ネットワークシステムについて
7	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・介護支援専門員自己評価表について
8	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・認知症カフェについて
9	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・サービス担当者会議について
10	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・抗菌、ビタミンについて
11	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・介護予防日常生活支援総合事業について
12	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・認知症について
H29. 1	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・居宅介護支援経過記録について
2	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・もの忘れ相談連絡表について
3	連絡事項・利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意点・ケアプランの点検・医師とケアマネジャーとの連携について

地域貢献事業（尚生会　健康プラン２１：介護者健康教室）

年　月　日	場所・参加者	内　　容
H28. 6.21	ケアハウスかさま・笠間地区の皆さん	健康リハビリ体操、認知症講座
9.27	寺崎公民館・寺崎地区の皆さん	健康リハビリ体操、認知症講座
11.29	ケアセンターいずみ・岩間地区の皆さん	健康リハビリ体操、認知症講座

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
質の高いケアマネジメントが提供できるよう、各担当利用者のアセスメントやケアプランを検証確認する機会を設けることで事業所内のレベルアップを図る。（３ヶ月の検証確認の実施回数　S：６回以上　A：５回　B：４回　C：２回以下）	A	A	A	A	A
朝礼や会議により「報告･連絡･相談」を徹底することで職員間の連携を強化し、相談業務の充実を図る。（３ヶ月の実施率　S：１００％　A：９０％　B：８０％　C：７０％　D：６０％）	S	S	A	S	A
内部・外部含めて、認知症に関する講義・研修会等の講師を積極的に行う。（S：４回以上　A：３回　B：２回　C：１回　D：０回）	S	S	S	S	S

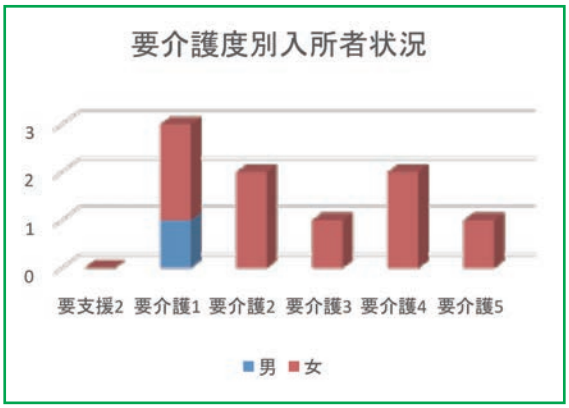
【総括】

平成 28 年度は、新規依頼の総件数が昨年比で 15 件多くありましたが入院期間が長いことやサービス利用に繋がらないケースがあり、請求件数としては若干下回った状況でした。地域包括支援センターとの連携の機会も増え、今後も困難事例も積極的に受入れしていきたいと思います。主任ケアマネを中心に各プランの内容の把握により指導または助言の機会を作り、情報共有や職員間の連携強化にも力を入れ、質の向上につなげていきたいと思います。

認知症高齢者グループホーム（共用型認知症対応型通所介護センター）
かさまグリーンハウス

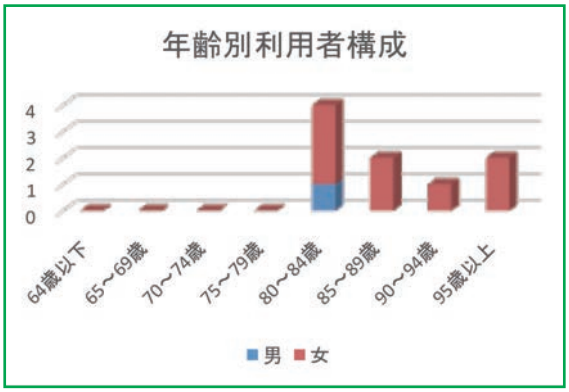
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	0	1	0	0	0	0	1
女	0	2	2	1	2	1	8
計	0	3	2	1	2	1	9
平均介護度	2.55						



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	0	0	3	2	1	2	8
計	0	0	0	0	4	2	1	2	9



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	83	83	83.0
女	96	80	87.6
全体	96	80	87.1

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	
男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女	0	0	0	4	3	0	0	1	0	8
計	0	0	0	5	3	0	0	1	0	9

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	Ｍ	合計
男	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女	0	0	1	3	2	1	1	0	8
計	0	0	2	3	2	1	1	0	9

主な行事内容

家族交流会

敬老祝賀会

そば打ち

クリスマスコンサート

会議

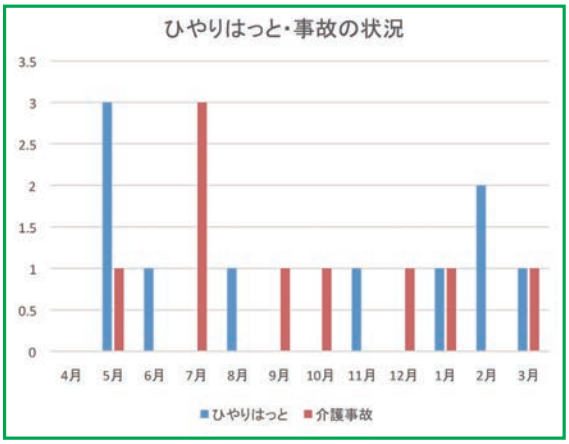
	年間 実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	71	個別ケア、連絡事項、行事検討他
サービス 担当者会議	12	71	サービス計画の見直しと評価、検討
運営推進会議	6	68	入所者状況報告、事業計画、事業実績他

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.30	笹島　和子	茨城県総合福祉会館	茨城県認知症介護研修
8.17	松岡　淳子	茨城県総合福祉会館	社会福祉法改正に伴う施設を取り巻く動向と対策
8.27	松岡　淳子	常陽つくばビル	部下のやる気と能力を育てる！ＯＪＴ実践セミナー
11.16	松岡　淳子	笠間市立友部公民館	魅力ある施設経営：介護マーケティング
H29. 1.30	松岡　淳子	友部社会福祉会館	防犯対策について
2.21	松岡　淳子	笠間市立友部公民館	魅力ある施設経営：介護マネージメント

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	0	3	1	0	1	0	0	1	0	1	2	1
介護事故	0	1	0	3	0	1	1	0	1	1	0	1



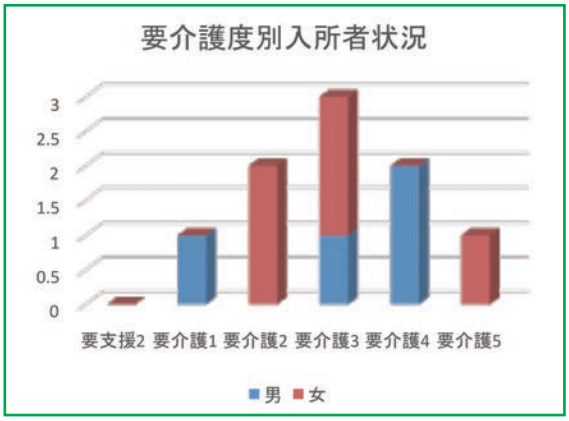
職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.27	6	車両の安全運転について	H28.10.26	5	感染症対策について
5.17	6	介護技術について	11.29	4	介護技術について
6.23	5	救急法について	12.14	5	ケアプランについて
7.28	5	身体拘束について	H29. 1.23	5	尊厳について
8.28	5	認知症ケアについて	2.26	5	モニタリングについて
9.27	5	危険予知トレーニングについて	3.20	5	認知症ケアについて

共用型認知症対応型通所介護センター

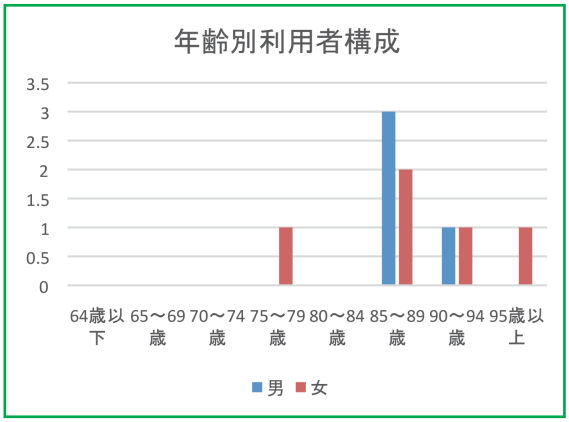
要介護度別入所者状況

要介護／性別	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	0	1	2	0	4
女	0	0	2	2	0	1	5
計	0	1	2	3	2	1	9
平均介護度	3.0						



年齢別利用者構成

年齢別／性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	3	1	0	4
女	0	0	0	1	0	2	1	1	5
計	0	0	0	1	0	5	2	1	9



年齢／性別	最高	最低	平均
男	93	86	88.8
女	97	79	88.8
全体	97	79	88.8

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	M	合　計
男	0	0	0	2	0	1	1	0	4
女	0	0	1	3	1	0	0	0	5
計	0	0	1	5	1	1	1	0	9

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
利用者の尊厳を保つ為、職員の言葉使いや態度について確認、指導をしていく。（月１回アンケート実施）（3月平均30点中）S：27点以上　A：25点以上　B：23点以上　C：21点以上　D：20点以下	B	A	A	A	B
出来る限り空床（入院者含）を出さないように、利用者の健康管理、事故防止に努めつつ、グループホームの待機者及び共用型認知通所の利用者を確保し、施設運営の安定を図る。（3ヶ月で）S：空床なし　A：20日以内　B：25日以内　C：30日以内　D：30日以上	A	S	S	S	A
地域や家族との交流、ふれあいを目的とした地域行事の参加や、外出行事・交流会を実施する。（3ヶ月間で）S：4回以上実施　A：3回実施　B：2回実施　C：1回実施　D：実施せず	S	S	S	S	S

共用型認知通所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	38	35	32	42	31	34	38	32	36	32	30	34	414
実績	38	35	34	43	32	36	37	33	38	25	31	30	412

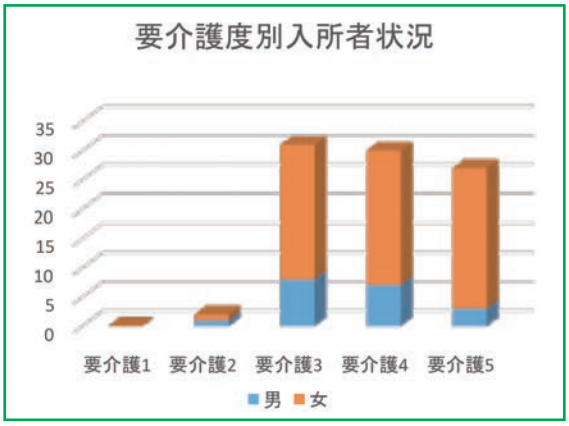
【総括】

今年度は、入所者様が大きな病気や怪我をすることなく、安定した１年間を過ごす事ができました。行事や活動では、地域との交流会を積極的に開催し、家族・地域の方とふれあい、親睦を図ることができました。日常生活では、住み慣れた自宅に、親しくなった共用型通所の利用者様を招いて会話を楽しんだり、個別対応の一つとして、図書館から本を借用するなど、一人ひとりの思いを尊重した対応に努めてきました。今後も、地域密着型施設の役割を意識しながら、地域に根差した施設を目指していきたいと思います。

特別養護老人ホーム　グリーンハウスみと

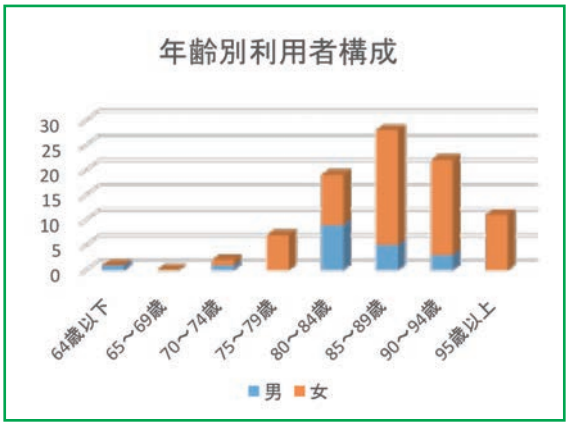
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	0	1	8	7	3	19
女	0	1	23	23	24	71
計	0	2	31	30	27	90
平均介護度	3.91					



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	0	1	0	9	5	3	0	19
女	0	0	1	7	10	23	19	11	71
計	1	0	2	7	19	28	22	11	90



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	91	59	83.2
女	105	72	88
全体	105	59	87

市町村別利用者状況

性別＼市町村	ひたちなか市	東海村	那珂市	大洗町	水戸市	笠間市	茨城町	鉾田市	城里町	高山市岐阜県	合計
男	3	0	1	1	15	0	0	0	0	0	20
女	10	1	0	8	46	1	1	1	1	1	70
計	13	1	1	9	61	1	1	1	1	1	90

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J　1	J　2	A　1	A　2	B　1	B　2	C　1	C　2	
男	0	1	0	3	7	3	4	1	0	19
女	0	3	3	8	14	12	19	2	10	71
計	0	4	3	11	21	15	23	3	10	90

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	M	合　計
男	2	1	1	3	6	2	3	1	19
女	4	1	7	16	30	7	6	0	71
計	6	2	8	19	36	9	9	1	90

主な行事内容

アクアワールド

ひたち海浜公園

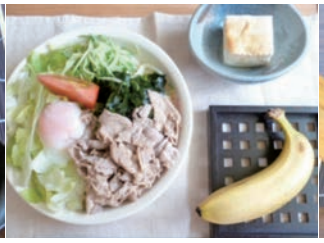
居酒屋

正月　福笑い

※その他、一年を通して多彩なイベントや行事を行なっています。

季節の行事食

・みどりの日
筍ご飯


・海の日
サラダうどん

・秋分の日
いなり寿司

・正月
おせち料理

※季節の野菜を使った料理や月に一度の選択食も好評いただいています。

余暇活動状況

内　　容	年間 実施回数	年間 延参加人数	実施内容
生花	10	56	生け花を体験しながら、利用者同士がコミュニケーションを図り、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で行なわれました。
フラワー アレンジメント	11	70	先生にお手伝いさせていただき、花の美しさをより引き出すアレンジの方法などを教えていただきました。
お茶会	3	30	本格的なお茶会に利用者の皆様は優雅なひとときを過ごされておりました。

ボランティア受入状況

月	延人数	内　　容	月	延人数	内　　容
4	12	生花、フラワーアレンジメント	10	15	生花、フラワーアレンジメント
5	9	生花、フラワーアレンジメント	11	16	生花、お茶会
6	27	生花、フラワーアレンジメント、お茶会	12	12	生花、フラワーアレンジメント
7	12	生花、フラワーアレンジメント	1	17	生花、フラワーアレンジメント、お茶会
8	7	フラワーアレンジメント	2	12	生花
9	11	生花、フラワーアレンジメント	3	6	フラワーアレンジメント

会議・委員会

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
リーダー会議	12	192	委員会活動報告、業務改善、その他連絡事項等
ユニット会議	12	420	ケース検討会、リーダー会議からの伝達、事故報告、業務改善等
安全対策会議	24	144	事故分析について、事例による再発防止検討会
給食委員会	12	72	食事についての要望や問題点及び改善点について
入所検討委員会	12	192	入所順位と新入所者検討
身体拘束委員会	12	180	身体拘束の見直し及び解除検討、権利擁護について
感染症対策委員会	12	192	感染症の知識について、標準予防策について

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 4.12	野口　圭市	ケアステーション藤が原	水戸市老人福祉施設長会議
4.23	岩間　祐美子	看護協会	科学的で実用的な食事アセスメント
5.11 ～ 5.12	菱田　修平 他計２名	茨城県総合福祉会館	新任職員の基本研修
5.28	岩間　祐美子	看護協会	食事アセスメントと食習慣指導
5.31	岩間　祐美子	茨城県民文化センター	栄養士会定時総会
6. 5	岩間　祐美子	看護協会	人材育成スキルアップ
6. 8	石崎　孝典	茨城県総合福祉会館	職場の基本動作～マナーの大切さ～
6.14	宇留野　淳	茨城県開発公社ビル	新任管理者のためのマネジメント力
6.15	岩間　祐美子	茨城県学校給食会	茨城県栄養士会福祉専門研究会
6.15	野口　圭市	茨城県総合福祉会館	茨城県老人福祉施設協議会総会
6.17	野口　圭市	ケアステーション藤が原	水戸市老人福祉施設長会議
6.29	石島　秀紀	水戸市福祉ボランティア会館	水戸地区社会福祉法人連絡会

6.30	大畠　啓子	茨城県総合福祉会館	認知症介護基礎講座
7.4 ～計 13 日	山口　諭	茨城県総合福祉会館	介護職員等たん吸引実地研修
7.21	大津　美香	茨城県総合福祉会館	介護職員等たん吸引実地指導者講習
7.11 ～ 7.12	塚田　綾子	TFT ビル	主任・係長講座
7.12	小沼　茜	茨城県開発公社ビル	女性リーダーに求められる心構えとスキル
7.30	岩間　祐美子	看護協会	日本食品標準成分表 2015 年版を使いこなすための知識と技術
8. 9	野口　圭市	ケアステーション藤が原	水戸市老人福祉施設長会議
8.22 ～ 23	石島　秀紀	全国社会福祉協議会	社会福祉法人経営塾
8.23	岩間　祐美子	那珂市総合センターラポール	給食施設における献立作成ポイント
8.24	飯島　厚美	常陽つくばビル	部下のやる気と能力を育てる
9.7 ～ 9. 8	柳橋　瑞希	茨城県総合福祉会館	OJT マネジメント
9.12	鈴木　良明	茨城県開発公社ビル	聴く力・伝える力の磨き方
9.25	岩間　祐美子	看護協会	生涯教育研修会
9.29	岩間　祐美子	健康プラザ	給食施設調理従事者研修会
10. 8	岩間　祐美子	看護協会	生涯教育研修会
10.19	塚田　綾子	常陽つくばビル	お客様の怒りを笑顔に変える、クレーム対応講座
10.25	野口　圭市	ケアステーション梅寿園	水戸市老人福祉施設長会議
10.30	小沼　茜	茨城県総合福祉会館	キャリアアップ講座
11. 6	羽冨　栄子	県庁９階講堂	地域医療における救急医療・限られた医療資源
11. 7	石島　秀紀	水戸市福祉ボランティア会館	水戸地区社会福祉法人連絡会
11. 8	岩間　祐美子	茨城県総合福祉会館	老人福祉協議会
11. 8	佐藤　幸	茨城県建設技術管理センター	高齢者の栄養・摂取・嚥下ケア
11. 8	寺坂　郁哉	茨城県建設技術管理センター	フィジカルアセスメント研修
11.10 ～計 4 日	塚田　綾子	茨城県総合福祉会館	構成者権利擁護養成研修
11.12	岩間　祐美子	看護協会	生涯教育研修会
11.17 ～ 18	石島　秀紀	全国社会福祉協議会	社会福祉法人経営塾
11.23	岩間　祐美子	看護協会	栄養学術講習会
12. 7	片倉　克彦	茨城県開発公社ビル	福祉施設の地震・水害等災害対策
12. 8	岩間　祐美子	学校給食会	生涯教育研修会
12.24	岩間　祐美子	看護協会	公益社団法人茨城県栄養士会
H29. 2. 6	宇留野　淳 他計２名	茨城県人材育成センター	エルダー・メンター研修
2. 7	野口　圭市	ケアステーション梅寿園	水戸市老人福祉施設長会議
2.10	石崎　孝典 他計２名	茨城県総合福祉会館	メンタルヘルス・メンタルトレーニング研修
2.24	石島　秀紀	茨城県総合福祉会館	社会福祉法人管理・代表者研修
2.26	岩間　祐美子	茨城県総合福祉会館	給食担当職員研修

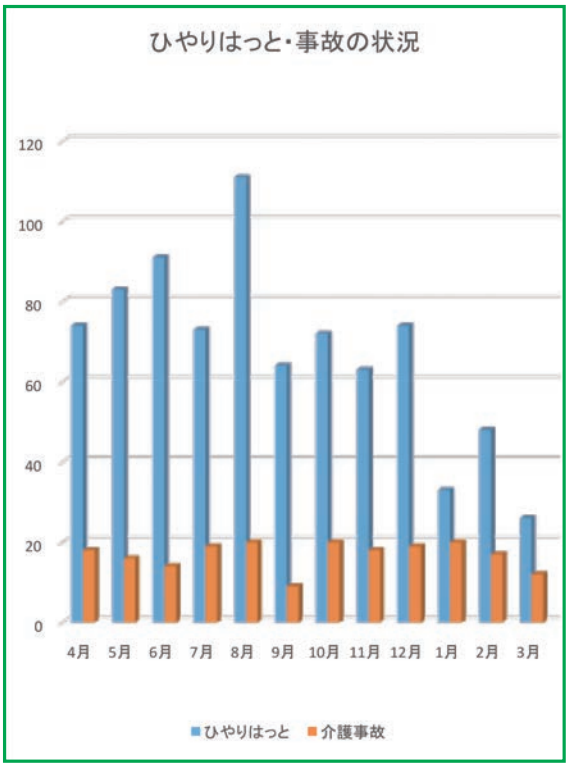
3.8 ～計３日	片倉　克彦 他計３名	茨城県総合福祉会館	福祉コミュニティづくり推進のつどい
3.23	野口　圭市	茨城県総合福祉会館	茨城県老人福祉施設協議会総会

地域貢献事業

年　月　日	参加人数	内　　容
H28. 4.13	1	常澄圏域地域ケア会議
6. 5	8	鹿島線常澄駅周辺のゴミ拾い
6. 8	1	常澄圏域地域ケア会議
8. 7	6	常澄商工会主催による国道２４５号線周辺のゴミ拾い
8.10	1	常澄圏域地域ケア会議
8.27	6	下大野小学校ＰＴＡ合同による草刈
10.12	7	常澄圏域地域ケア会議・鹿島線常澄駅周辺のゴミ拾い
12.16	1	常澄圏域地域ケア会議
H29. 2. 8	1	常澄圏域地域ケア会議
3. 8	1	常澄圏域地域ケア会議
3.19	6	鹿島線常澄駅周辺のゴミ拾い

ひやりはっと・事故の状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	74	83	91	73	111	64	72	63	74	33	48	26
介護事故	18	16	14	19	20	9	20	18	19	20	17	12



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28.4.15	16	菜根譚より「仲間を思いやる心」	10.21	18	ポジティブになるには
5.20	16	認知症予防	11.18	16	認知症予防
6.17	17	ユニットリーダー研修報告	12.16	16	アニマルセラピーについて
7.15	18	リーダーとは「部下を堂々と良く見る」	H29. 2.17	16	シルバー川柳
8.19	17	腰痛予防	3.17	16	H29 年度　事業計画書について
9.16	15	熟睡する方法			

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①法人理念・基本方針を踏まえ、入所者の要望や改善等に対する対応策の状況報告を受け、併せて財務状況(各期の資金・事業収支）について周知、理解を促し、適正な施設運営管理を推進する。 （実施回数　S：5回　A：4回　B：3回　C：2回　D：1回以下）	A	S	A	S	A
②一般職員との業務状況等の意見交換により、現場の状況把握を行い、リーダー会議にて情報の共有、課題についての対応・改善を図り、適切な職場環境の構築に努める。 （改善　S：100%　A：80%　B：60%　C：50%　D：40% 以下）	S	S	S	S	S
①『入所者の尊厳ある暮らし』を実現させるために、定期的に高齢者の尊厳に関する勉強会や研修等を行い、職員間で知識や情報の共有を図る。 （職員の理解度　S：100%　A：80%　B：60%　C：40%　D：40% 以下）	A	A	A	A	A
②「褥瘡予防」「会議開催」「身体拘束ゼロ」「事故削減」「誤嚥ゼロ」各町の年間目標を達成させることにより、入所者に快適な施設生活を送っていただけるよう、チェックシートに基づいて実施・評価していく。 （目標達成率　S：100%　A：70%以上　B：50%以上　C：31%以上　D：30%以下）	A	A	A	A	A
③職員間の信頼関係、良好なチームワークの構築を目的とし、「にやりホット」制度の充実を図ることで、虐待等のない適性な介護業務に努める。 （提出件数　S：５０件以上　A：４９～３０件　B：２９～２０件　C：１９～１０件　D：１０件以下）	A	A	A	S	A
①入所者の健康管理に努め、異常の早期発見と対応を行い入院を避ける。 （入院者率　S：0%　A：1～4%　B：5～9%　C：10～14%　D：15%以上）	B	A	B	A	B
②褥瘡に対する知識向上と予防対策の理解を目的とした施設内研修を定期的に実施する。 （開催回数　S：４回以上　A：３回　B：２回　C：１回　D：０回）	A	A	S	S	A
①３ヶ月毎の低栄養リスクの判定時に、リスクの高くなったご利用者様のアセスメントの取り直しを行う。 （実施率　S：100%　A：90%　B：80%　C :80%　D :69%以下）	S	S	S	S	S
②料理名に沿わない材料の切り方や調理は行わない。 （月　S：0件　A：1～2件　B：3～4件　C：5～6件　D：7件以上）	S	S	S	S	S

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	282	292	282	292	292	282	292	282	292	292	263	292	3,435
平均	9.40	9.42	9.40	9.42	9.42	9.40	9.42	9.40	9.42	9.42	9.07	9.42	9.38
実績	255	283	298	307	292	288	310	292	309	286	294	295	3,509
平均	8.50	9.13	9.93	9.90	9.42	9.60	10.00	9.73	9.97	9.23	10.14	9.52	9.59

【総括】

（介老）

・入所者の高齢・重度化により多数の退所者がおりましたが、入所待機者の事前の情報整理に努めることで、迅速な入退所が実施できました。今後も、介護度の高い高齢者が増えることが予測されます。これまで以上にご利用者が安心で安全に生活できる環境をつくるとともに、医療依存度の高いご利用者に対しても協力病院との連携を密にし、入所者様の健康維持・増進に努めます。
・1月にインフルエンザ感染が発症しましたが、感染症対策委員会を中心に感染対策に取り組み、手洗い・うがい等の基本予防の徹底や、室内の温度・湿度の適正管理を行ない、入院者もなく軽度の症状に抑えることが出来ました。

（短期）

・介護者の介護負担の軽減目的での利用に加え、独居の利用者が体調不良になった場合などの緊急依頼でも特養の空床ベッド利用を活用し一時入所を積極的に受け入ることができました。
・冬季はインフルエンザ発症によりキャンセルが増加の時期がありましたが、感染症対策及び空室状況を関係居宅へ情報提供をすることで、稼働率向上、新規利用者確保が図ることができました。
・ユニットでの行事や四季を感じられるようイベント食を提供し、利用者サービスの向上に努めました。

（地域との関わりについて）

近隣の小学校や商工会主催の美化活動への参加や、鹿島線の最寄駅周辺のゴミ拾いも定期的に行いました。また、地域の運動会参加、中学生の職場体験、地元小学生との交流など、お子様から高齢者まで幅広い地域のみなさまとの交流が持てました。

（職員について）

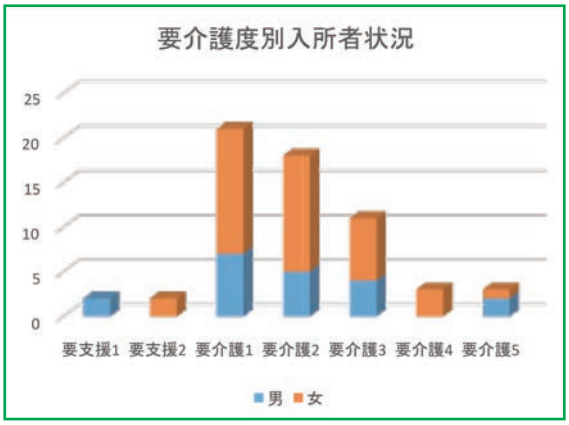
職員研修においては、ユニットリーダー研修、認知症介護実践研修への参加に加え、職員のスキル向上のため、老施協主催等の研修会に積極的に参加することができました。今後は施設内研修の充実を目標に取り組みます。

ストレスチェック制度の導入に伴い、リフレッシュ休暇の活用など積極的に休養が取れる対策に取り組みました。

通所介護センター　グリーンハウスみと

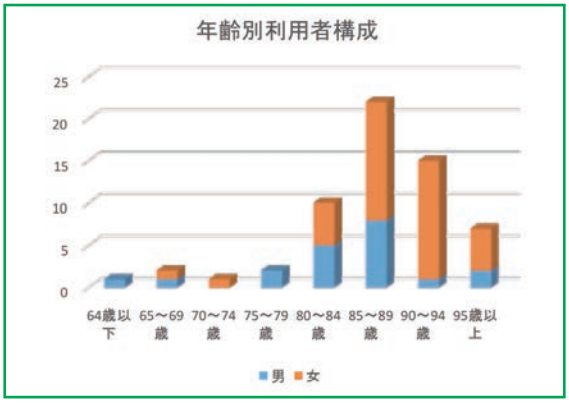
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	0	7	5	4	0	2	20
女	0	2	14	13	7	3	1	40
計	2	2	21	18	11	3	3	60
平均介護度	2.08							



年齢別利用者構成

年齢別＼性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	1	0	2	5	8	1	2	20
女	0	1	1	0	5	14	14	5	40
計	1	2	1	2	10	22	15	7	60



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	99	61	80
女	99	71	85
全体	99	71	85

主な行事内容

施設行事＆外出行事

会議

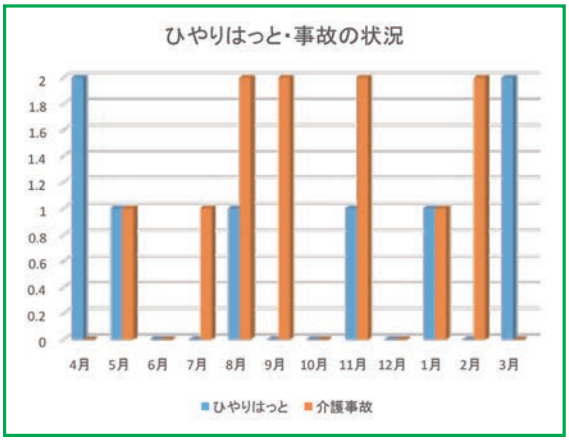
	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
スタッフ会議	12	94	業務内容の見直し、その他連絡事項
安全対策会議	12	94	事故の分析を行い、再防止検討など

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H29. 3. 8	米川　由香	茨城県総合福祉会館	福祉コミュニティづくり推進のつどい
3. 9	片桐　麻美	茨城県総合福祉会館	福祉コミュニティづくり推進のつどい

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	2	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2
介護事故	0	1	0	1	2	2	0	2	0	1	2	0



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.20	8	接遇について	10.26	8	感染予防について
5.25	8	高齢者の尊厳について	11.30	8	ヒヤリハット事例について
6.22	8	認知症について	12.21	8	運転時の事故事例について
7.27	8	認知症対応について	H29. 1.25	8	救命救急について
8.24	8	熱中症・脱水症状について	2.22	8	総合事業について
9.28	7	食中毒について	3.29	7	新年度に向けての取り組み

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①稼動率向上と安定を図るため、短期入所や事業所間で連携し、居宅・地域・病院へのＰＲ活動を行い利用者確保に努める。	S	S	S	S	S
②認知症ケアに関する専門知識を身に付けるため、内外部を含めた研修・勉強会に参加し、充実したサービスの提供に努める。	B	A	A	A	B
③利用者の体の維持向上を目的とし,機能訓練のアセスメント、実施、評価を行い、体の状態を確認しながらプログラムを進め、満足度に繋げる。	A	A	A	A	A

通所介護利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	494	494	513	513	513	494	494	494	494	456	456	513	5,928
実績	528	488	535	570	564	536	569	562	545	420	494	581	6,392

【総括】

柔軟な受け入れにより、新規確保につながり目標の達成につながりました。
今後も、認知症予防・進行予防の取り組みに力を入れ職員一同取り組んでいきます。

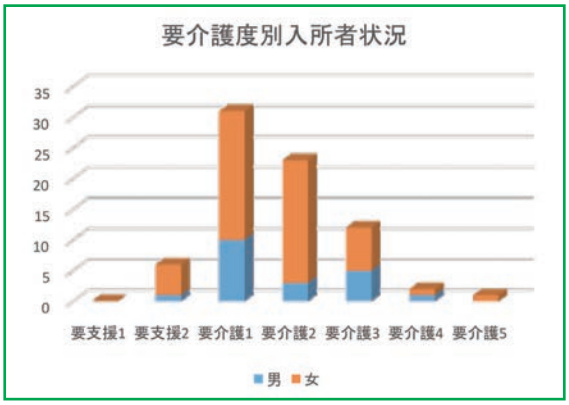
居宅介護支援事業所　グリーンハウスみと

居宅介護支援、介護予防支援利用者

地区＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
市区町村	水戸市	70	70	61	61	62	61	63	64	61	59	59	59	750
	大洗町	12	12	10	10	9	10	9	9	8	9	9	9	116
	ひたちなか市	9	9	9	9	8	8	8	7	5	4	4	4	84
	練馬区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	大子町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	北茨城市	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	7
	東海村	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	笠間市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		93	95	84	83	83	82	82	83	76	74	74	75	984

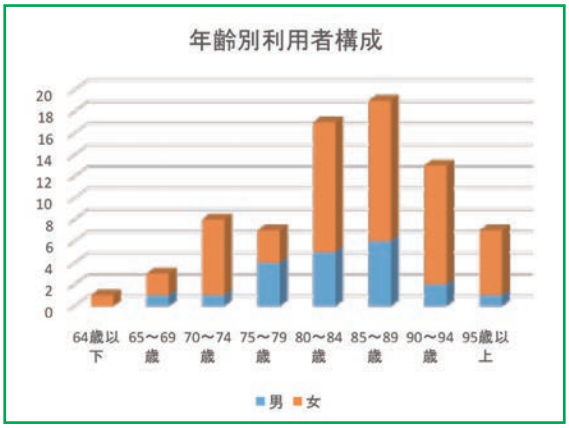
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	10	3	5	1	0	20
女	0	5	21	20	7	1	1	55
計	0	6	31	23	12	2	1	75
平均介護度	1.82							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	1	4	5	6	2	1	20
女	1	2	7	3	12	13	11	6	55
計	1	3	8	7	17	19	13	7	75



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	100	68	83
女	99	45	82
全体	100	45	83

会議等参加状況

年月日	参加者	場　　所	会議名	内　　容
H28. 4.13	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	水戸市からの連絡事項
6. 8	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	認知症施策推進事業、身元保証人について
8.10	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	虐待対応について、認知症ケアパス経過報告について
10.12	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	常澄地区高齢者作品展について
12.16	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	認知症予防活動、在宅見守り安心システム
H29. 2. 8	永田	グリーンハウスみと	常澄圏域地域ケア会議	高齢者支援センター便りについて
3. 8	永田	稲荷第一市民センター	常澄圏域地域ケア会議	民生委員、常澄地区事業所交流会

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.20	永田	水戸医師会	在宅医療事例検討会
10.19	永田	市町村会館	ケアマネ技術向上セミナー
11.21	永田、山口	高齢福祉課地域支援ｾﾝﾀｰ	日常生活支援総合事業事業所説明会
12.15	永田、山口	大洗町役場	日常生活支援総合事業事業所説明会

サービス提供会議（毎月４回開催）・勉強会

年　月　日	内　　容
H28. 4. 6	新規利用者について、ケアマネ研修予定について
4.13	新規利用者について、相談の内容、動向について
4.19	困難ケースについて
4.29	新規利用者について
5. 2	新規利用者、利用者の動向について
5.10	利用者の動向について
5.18	新規利用者について

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①質の高いケアマネジメントが提供できるよう、各担当利用者のアセスメントからモニタリングの流れを検証確認する機会を設けることで、ケアプランとニーズの整合性を図る。	S	A	A	A	A
②高齢者の尊厳を支えるケアへの知識向上のため、内･外部の研修に参加する。	A	A	A	A	A
③地域における施設・居宅・医療・介護間のシームレスなケアマネジメントを実施するため、地域での会議や行事等に参加する。	A	A	A	A	A

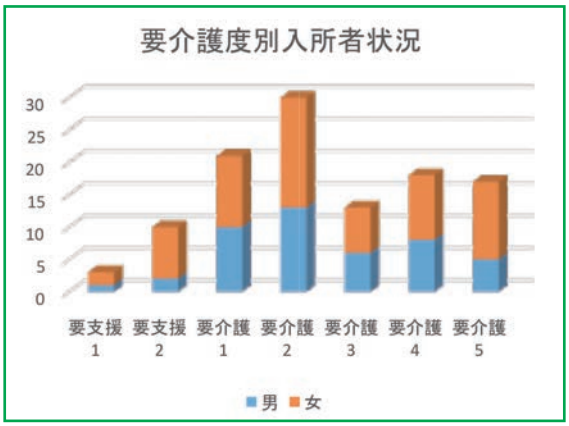
【総括】

今年度は二人体制になったこともあり、実績は目標を達成できなかったがケアマネジメントに関してのアセスメントやモニタリング等はしっかりと整合性が図れた。また内部・外部の研修会にも参加し知識の向上に努めた。今後は地域での役割の幅を広げるために、地域サロンでの貢献や高齢者支援センターとの連携を密に図り実績に繋げていきます。

訪問看護ステーション　グリーンハウスみと

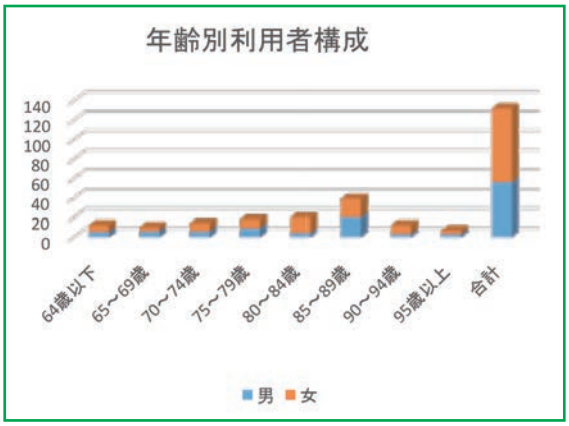
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	1	2	10	13	6	8	5	9	54
女	2	8	11	17	7	10	12	11	78
計	3	10	21	30	13	18	17	20	132
平均介護度	2.79								



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	5	6	6	9	4	20	3	3	56
女	7	4	8	9	16	19	9	4	76
計	12	10	14	18	20	39	12	7	132



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	96	45	78.5
女	99	58	80.7
全体	99	45	79.8

市町村別利用者状況

性別＼市町村	水戸市	茨城町	大洗町	ひたちなか市	那珂市	笠間市	合計
男	37	2	12	0	0	3	54
女	48	4	21	2	2	1	78
計	85	6	33	2	2	4	132

会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
看護カンファレンス	50	253	ケース検討、症例検討、情報共有、連絡事項
リハカンファレンス	45	309	ケース検討、症例検討、情報共有、連絡事項

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.26	篠原恵味 青柳奈枝 富田真紀	つくば国際会議場	日本褥瘡学会　茨城県支部在宅褥瘡セミナー
7.11	藤田政大 舩橋健太	水戸赤十字病院	水戸医療圏研修会
12.21	舩橋健太	北水会記念病院	茨城県ボバース研修会
12.28	星野聡 倉田徳彦	つくば国際会議場	茨城県訪問リハビリテーション実務者研修
H29. 1.16	磯崎雄一郎	南部第２支援センター	医療と介護連携について
2.16	磯崎雄一郎	西部支援センター	見える事例検討会
2.26	星野聡 倉田徳彦	茨城県立県民文化センター	茨城県訪問リハビリテーション実務者研修

職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4. 5	13	接遇について	10. 4	12	移動・移乗介助について
6. 7	12	リスクマネジメントについて	12. 6	12	ＡＤＬの評価について
8. 2	13	嚥下の評価について	H29. 2. 7	12	感染症予防について

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
より良い接遇のサービスに努めることで、利用者様からの苦情件数を減少する。	B	S	S	S	A
訪問看護利用者の確保のために、居宅介護支援事業所や病院の医療連携室等へ定期的な営業活動を行う。	S	S	S	S	S
利用者の安定した確保のため、空きが出来たときにはスムーズに新規利用者の確保を行う。	S	A	A	A	A

利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	930	930	930	930	920	930	930	930	910	910	910	930	11,090
実績	885	953	931	939	1,013	945	861	903	859	787	748	846	10,670

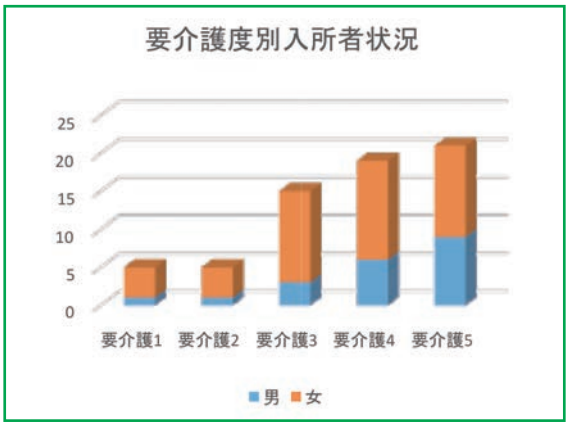
【総括】

・年間２回の苦情が発生してしまった。サービス提供に対する高い意識を持ち業務にあたるように管理していく。
　また、苦情の対応においては、職員に対し報告・連絡・相談を促し、管理職による迅速且つ丁寧な対応を心がけていく。
・利用実績は 10 月から目標を下回る結果となってしまった。年間の合計としては目標値 -420 件。人員配置の変更もあったが、大きな要因としては入院者の増加が大きく影響している。
・営業活動においては継続的に行い他事業所との連携も密に行えた。新規利用者の獲得においては月平均 4.8 件という結果であった。
　入院者数の増加に対応するためには、入院者の状態把握に努め適切な判断をし、営業活動により新規利用者数を増やす対応をしていく。
・研修において高い意識を持ち積極的に参加できた。勉強会においても看護スタッフ、リハビリスタッフの知識を共有できる良い機会となった。
　今後、在宅における医療依存度も高くなることを念頭に、さらなる知識の向上、個の力の育成を図っていく。

特別養護老人ホーム　グリーンハウスひたちなか

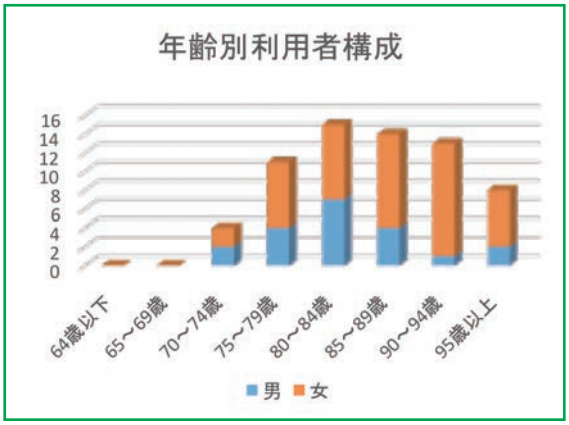
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	1	1	3	6	9	20
女	4	4	12	13	12	45
計	5	5	15	19	21	65
平均介護度	3.7					



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	4	7	4	1	2	20
女	0	0	2	7	8	10	12	6	45
計	0	0	4	11	15	14	13	8	65



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	100	70	82.6
女	100	71	86.6
全体	100	70	85.4

市町村別利用者状況

性別＼市町村	ひたちなか市	東海村	那珂市	日立市	水戸市	笠間市	常陸太田市	札幌市北区	合計
男	20	0	0	0	0	0	0	0	20
女	36	2	1	1	1	2	1	1	45
計	56	2	1	1	1	2	1	1	65

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J　1	J　2	A　1	A　2	B　1	B　2	C　1	C　2	
男	0	0	0	1	2	3	6	3	4	19
女	0	0	0	3	7	9	12	5	10	46
計	0	0	0	4	9	12	18	8	14	65

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	M	合　計
男	0	0	2	3	7	4	3	0	19
女	0	0	9	10	15	7	5	0	46
計	0	0	11	13	22	11	8	0	65

主な行事内容

6月　自治会3世代交流
地域の方とのふれあい

8月　夏祭り
来場者全員で記念撮影

9月　敬老会
会場の様子

10月　食事会
ご家族をご招待して

季節の行事食

4.1　創立記念弁当
赤飯
季節の山菜天ぷら
かぶの桜エビ煮
うどと若芽の酢味噌和え
茶碗蒸し

6.26　ﾃﾞｻﾞｰﾄﾊﾞｲｷﾝｸﾞ
ケーキ　4種
和菓子(饅頭､水羊羹など)
ゼリー、プリン
アイスクリーム
綿あめ

12.25　クリスマス
えびピラフ
ハンバーグ＆コロッケ
カリフラワーのサラダ
プリン

3.20　春分の日
桜ごはん
さわらの西京焼き
筍とふきの煮物
菜の花のお浸し
ぼたもち

余暇活動状況

内　　容	年間 実施回数	年間 延参加人数	実施内容
映画鑑賞会	6	120	映画鑑賞
手工芸クラブ	1	15	ラベンダースティック作り
ゲームクラブ	12	216	ゲーム
料理クラブ	2	40	たこ焼き作り・ホットケーキ作り
カラオケクラブ	12	216	カラオケ

ボランティア受入状況

月	延人数	内　　容	月	延人数	内　　容
4	4	リハビリ体操・音楽療法	10	8	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・歌謡ショー
5	6	リハビリ体操･音楽療法･歌謡ショー	11	8	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・歌謡ショー
6	13	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・太鼓演奏・歌謡ショー	12	32	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・清掃・歌謡ショー
7	8	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・歌謡ショー	1	4	リハビリ体操・音楽療法
8	11	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・太鼓演奏・歌謡ショー	2	5	リハビリ体操・音楽療法・傾聴
9	8	リハビリ体操・音楽療法・傾聴・歌謡ショー	3	6	リハビリ体操・音楽療法・傾聴

会議・委員会

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
リーダー会議	12	168	業務改善について、委員会活動報告、目標達成状況報告
ユニット会議	12	432	ケース検討、リーダー会議からの伝達、委員会活動報告
安全対策会議	13	82	事故分析、事故予防策について
食事委員会	12	94	食事についての要望や問題点及び改善策について
入所検討委員会	5	21	待機者状況報告と入所順位決定
身体拘束排除委員会	12	168	身体拘束の見直し及び解除検討
安全衛生委員会	12	60	感染症対策について、労働環境について

研修報告

年月日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 5.10	田口　ひろみ	水戸福祉ボランティア会館	嚥下食実践セミナー
5.13	沼田　由美子	茨城県総合福祉会館	県央地区ケアマネ・生活相談員研究会
5.13	富田　卓也	茨城県総合福祉会館	リーダーが人を育てる！やる気アップ術
6. 2	沼田　由美子	茨城県総合福祉会館	認知症介護実践者研修
6. 8	永井　まみ	水戸医療センター	正しいスキンケア
6. 8	長谷川　優衣	水戸医療センター	正しいスキンケア
6.15	清水　孝一	茨城県総合福祉会館	精神疾患を理解する
6.16	富田　卓也	大田区産業プラザ Pio	ユニットリーダー研修
6.16	磯　勝利	茨城県総合福祉会館	身元保証セミナー
6.17	尾亦　理絵	金上ふれあいセンター	介護職員向け虐待防止につながる接遇マナー(一般職向け)

6.21	山崎　徹	県民文化センター	平成 28 年度介護サービス施設・事業所管理者研修会
6.24	島田　裕行	ひたちなか総合病院	ひたちなか総合在宅褥瘡ケア
6.24	昆　えりか	ひたちなか総合病院	ひたちなか総合在宅褥瘡ケア
6.30	永井　まみ	茨城県総合福祉会館	認知症介護基礎研修
6.30	飯尾　卓也	茨城県総合福祉会館	認知症介護基礎研修
7. 4	藤澤　理恵子	茨城県総合福祉会館	痰吸引研修
7. 4	山田　美知代	茨城県総合福祉会館	痰吸引研修
7. 8	飯尾　卓也	茨城県総合福祉会館	認知症の疾患別ケア
7.10	清水　優子	認知症ケア研究所研修センター	認知症の人とのコミュニケーションスキルと実践
7.12	沼田　由美子	茨城県開発公社ビル	女性リーダーとして求められる心構えとスキル
7.13	永井　まみ	水戸医療センター	褥瘡発生のメカニズムと栄養管理
7.13	長谷川優衣	水戸医療センター	褥瘡発生のメカニズムと栄養管理
7.13	田口　ひろみ	水戸医療センター	褥瘡発生のメカニズムと栄養管理
7.15	田中　恵	金上ふれあいセンター	介護職員向け虐待防止につながる接遇マナー（指導職向け）
7.15	清水　優子	金上ふれあいセンター	介護職員向け虐待防止につながる接遇マナー（指導職向け）
7.20	島田　裕行	茨城県総合福祉会館	すぐ役立つ排泄介助
7.27	山崎　徹	大田区産業プラザ Pio	ユニットケア施設管理者研修
8. 3	清水　孝一	茨城県総合福祉会館	認知症介護実践者研修
8.17	杉山　義典	茨城県総合福祉会館	施設長・管理者研修会
8.17	磯　勝利	茨城県総合福祉会館	施設長・管理者研修会
8.19	尾亦　理絵	茨城県総合福祉会館	伝わる・伝える文章の書き方と効果的な記録の方法
8.24	田中　恵	茨城県総合福祉会館	知っておきたい薬の知識
8.31	沼田　由美子	茨城県総合福祉会館	認知症対応型サービス事業管理者研修
9. 3	飛田　怜奈	認知症ケア研究所研修センター	高齢者を寝たきりにさせないメディカルフットケア
9. 4	照沼　真由美	介護老人保健施設ゆうゆう	介護の現場が笑顔であふれるコミュニケーション術
9. 4	藤澤　理恵子	介護老人保健施設ゆうゆう	介護の現場が笑顔であふれるコミュニケーション術
9. 4	川前　貴史	認知症ケア研究所研修センター	高齢者のアクティビティープログラム
9. 7	永井　まみ	水戸医療センター	褥瘡予防対策
9. 7	長谷川　優衣	水戸医療センター	褥瘡予防対策
9. 8	大橋　千秋	茨城県総合福祉会館	すぐ役立つ入浴・清潔保持
9. 9	山下　拓也	茨城県水戸生涯学習センター	認知症の方とのコミュニケーション術
9. 9	杉山　義典	茨城県総合福祉会館	施設長・管理者研修会
9. 9	磯　勝利	茨城県総合福祉会館	施設長・管理者研修会
9.12	田口　ひろみ	茨城県立健康プラザ	平成 28 年度給食施設研修会
9.13	照沼　真由美	つくば研究支援センター	女性リーダースキルアップセミナー

9.15	小林　寛之	茨城県総合福祉会館	人材が育つリーダーシップ研修
9.21	秋山　理沙	茨城県総合福祉会館	ナラティブってなんだろう？
10. 3	飯尾　卓也	茨城県総合福祉会館	茨城介護サミット 2016
10. 3	大内　一生	茨城県総合福祉会館	茨城介護サミット 2016
10. 5	権瓶　崇	茨城県総合福祉会館	すぐ役立つ移乗介助と体位変換
10. 6	磯　勝利	茨城県土浦市ワークヒル土浦	雇用管理責任者講習
10.13	沼田　由美子	ひたちなか総合病院市役所	多職種協同のための意見交換会
10.13	富田　卓也	ひたちなか総合病院市役所	多職種協同のための意見交換会
10.13	清水　優子	ひたちなか総合病院市役所	多職種協同のための意見交換会
10.11	磯　勝利	茨城県民文化センター	安全運転管理者研修
10.19	清水　孝一	常陽つくばビル	お客様の怒りを笑顔に変えるクレーム対応講座
10.23	黒羽　悠	認知症ケア研究所研修センター	高齢者事故の対処法
10.23	永井　まみ	認知症ケア研究所研修センター	リアリティーオリエンテーションと昔話の会
10.23	清水　孝一	ワークプラザ勝田	在宅医療と介護の連携の為の研修会
10.28	鈴木　秀樹	茨城県総合福祉会館	知っておきたい皮膚のケア～褥瘡を予防する～
10.31	清水　孝一	茨城県建設技術管理センター	医療介護連携推進人材養成事業における介護職員等養成研修 1
11. 2	清水　孝一	茨城県建設技術管理センター	医療介護連携推進人材養成事業における介護職員等養成研修 2（高齢者の栄養・摂食・嚥下）
11. 4	田口　ひろみ	株式会社つくば研究支援センター	高齢者食・介護食に関する講演会
11. 8	山田　美知代	ひたちなか商工会議所会館	女性活躍推進セミナー
11. 8	田口　ひろみ	茨城県総合福祉会館	H28 年度 6 ブロック合同研修会
11.10	田中　恵	茨城県総合福祉会館	茨城県高齢者権利擁護推進委員養成研修
11.10	富田　卓也	茨城県総合福祉会館	茨城県高齢者権利擁護推進委員養成研修
11.14	山崎　徹	TIME24 ビル	初級リスクマネージャー養成講座
11.15	山崎　徹	TIME24 ビル	初級リスクマネージャー養成講座
11.16	大塚　知典	ひたちなか総合病院	嚥下のメカニズムと訓練
11.16	秋山　理沙	ひたちなか総合病院	嚥下のメカニズムと訓練
11.16	飛田　怜奈	ひたちなか総合病院	嚥下のメカニズムと訓練
11.16	山崎　徹	常陽つくばビル	より良い組織を作るための業務管理力と業務改善力養成講座
11.17	大橋　千秋	茨城県職業人材育成センター	認知症の方の気持ちに寄り添う認知症ケア
11.18	山下　拓也	茨城県職業人材育成センター	一歩先行く！介護職の接遇コミュニケーション
11.24	大高　隼人	WHT ワークヒル土浦	介護トラブルクレーム対処法
11.24	清水　孝一	WHT ワークヒル土浦	介護トラブルクレーム対処法
11.27	沼田　由美子	水戸市福祉ボランティア会館	DV・性暴力被害者に寄り添う支援

11.28	清水　優子	ひたちなか商工会議所会館	情報誌・チラシの作り方
11.28	田口　ひろみ	ひたちなか商工会議所会館	情報誌・チラシの作り方
11.29	藤澤　理恵子	茨城県総合福祉会館	知っておきたい神経難病の理解と対応
12. 4	沼田　由美子	水戸市福祉ボランティア会館	DV・性暴力被害者に寄り添う支援
12. 5	山田　美知代	茨城県薬剤師会館	キャリアアップ講座
12. 5	田中　恵	茨城県薬剤師会館	キャリアアップ講座
12. 7	山崎　徹	茨城県開発公社ビル	福祉施設の BCP 作成セミナー
12. 8	権瓶　崇	水戸メディカルカレッジ	介護力強化事例発表会
12. 8	神原　祥和	水戸メディカルカレッジ	介護力強化事例発表会
12.11	沼田　由美子	水戸市福祉ボランティア会館	DV・性暴力被害者に寄り添う支援
12.13	尾亦　理絵	茨城県総合福祉会館	リスクマネジメント
12.16	清水　孝一	茨城県建設技術管理センター	医療介護連携推進人材養成事業における介護職員等養成研修 3
H29. 1.14	田口　ひろみ	ホテルレイクビューみと	茨城県栄養士会　法人設立 30 周年記念講演会
1.17	清水　孝一	茨城県総合福祉会館	認知症ケアのケアマネジメント
1.20	照沼　真由美	茨城県総合福祉会館	看取りケア研修会
1.24	長谷川　由佳	茨城県総合福祉会館	相手の力を活かした介護技術とは
2. 1	山田　美知代	茨城県総合福祉会館	知っておきたい急変時対応
2. 9	田口　ひろみ	茨城県総合福祉会館	知っておきたい高齢者の疾患と症状の理解
2. 9	山崎　徹	TIME24 ビル	初級リスクマネージャー養成講座
2.10	山崎　徹	TIME24 ビル	初級リスクマネージャー養成講座
2.21	清水　孝一	笠間市立友部公民館	笠間市社会福祉施設代表者連絡会第 2 回合同研修会
2.21	中野　一輝	笠間市立友部公民館	笠間市社会福祉施設代表者連絡会第 2 回合同研修会
2.23	島田　裕行	茨城県総合福祉会館	介護力向上研修会
2.24	磯　勝利	茨城県総合福祉会館	平成 28 年度職場環境改善事例発表会
3.16	大塚　知典	水戸メディカルカレッジ	茨城県福祉人材確保、定着バックアップ事業
3.16	田川　加奈子	水戸メディカルカレッジ	茨城県福祉人材確保、定着バックアップ事業

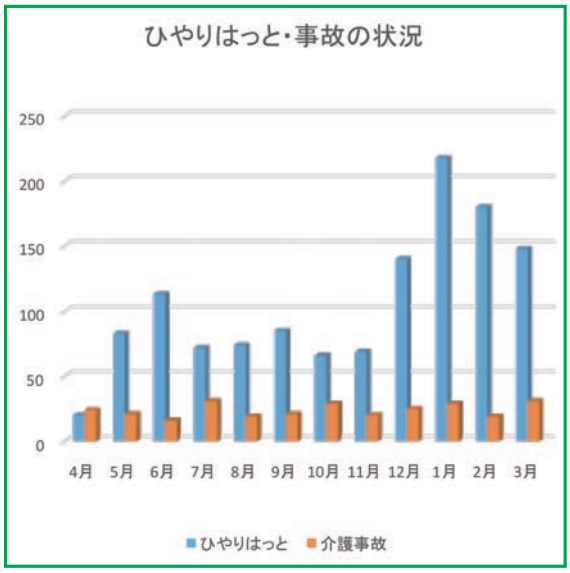
地域貢献事業

年　月　日	参加人数	内　　容
H28. 5. 8	5	地域内清掃（ゴミ拾い）
7.10	6	地域内清掃（ゴミ拾い）
7.17	10	週末シニア教室
8.21	11	週末シニア教室

9.11	7	地域内清掃（ゴミ拾い）
9.25	19	週末シニア教室
10.16	8	週末シニア教室
11. 4	18	ひたちなか市産業祭（認知症予防啓発）
11.13	7	地域内清掃（ゴミ拾い）
H29. 1. 8	6	地域内清掃（ゴミ拾い）
3.12	7	地域内清掃（ゴミ拾い）

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	20	83	113	72	74	85	66	69	140	218	180	148
介護事故	24	21	16	31	19	21	29	20	25	29	19	31



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.23	11	バイタルサインについて	11. 8	8	高齢者の権利擁護について
4.24	7	バイタルサインについて	12.21	7	職場定着のための研修
5.19	12	ポジショニングについて	12.27	10	高齢者の権利擁護について
5.30	5	高齢者の権利擁護について	H29. 1.16	26	口腔ケアについて
6.30	17	チームケアについて	3.13	17	排泄について
7. 2	14	チームケアについて	3.15	6	職場定着のための研修
8.21	6	高齢者の権利擁護について	3.22	5	権利擁護・不適切なケアについて
8.25	12	食事について	3.23	3	権利擁護・不適切なケアについて
9. 4	6	高齢者の権利擁護について	3.26	8	権利擁護・不適切なケアについて
9.21	9	職場定着のための研修	3.27	7	権利擁護・不適切なケアについて
10. 3	26	褥瘡予防	3.29	6	権利擁護・不適切なケアについて
10.16	13	24H シートについて	3.31	7	権利擁護・不適切なケアについて
10.19	9	職場定着のための研修			
10.27	13	24H シートについて			

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
法人理念・基本方針を踏まえ、入所者の要望や改善等に対する対応策の状況報告を受け、併せ財務状況(各期の資金･事業収支）について周知、理解を促し、適正な施設運営管理を推進する。(実施回数　S：5回　A：4回　B：3回　C：2回　D：1回以下)	A	A	A	D	B
現場の状況把握及び職員との業務状況等の意見交換を密に行い、適切な職場(接遇）及び業務フローの構築（業務効率・事故防止）均質なサービスの提供を図る。(実施　S：40人以上　A：30人以上　B：20人以上　C：10人以上　D：10人未満)	A	B	C	D	C
『入所者の尊厳ある暮らし』を実現させるために、定期的に高齢者の尊厳に関する勉強会や研修等を行い、職員間で知識や情報の共有を図る。(職員の理解度　S：100％　A：80％　B：60％　C：40％　D：40％以下)	A	A	A	D	B
「情報共有によるチーム力向上」「多彩なイベントの開催」「誤嚥性肺炎ゼロ」「24 hシートの充実」各町の年間目標を達成することにより、入所者に快適な施設生活を送っていただく。(目標達成率　S：100％　A：70％以上　B：50％以上　C：31％以上　D：30％以下)	A	B	A	A	B
サービス向上委員会が中心となりスモールステップアップ運動を実施し職員全体の接遇向上を図る。(開催回数　S：出来た　D：出来なかった)	A	A	A	D	B
入所者の健康状態を観察し、異常の早期発見と早期対応を行い長期の入院を避ける。(入院者率　S：0％　A：1～4％　B：5～9％　C：10～14％　D：15％以上)	A	A	A	A	A
「予防」に視点を置き、医療面の指導や勉強会を行う。(開催回数　S：4回以上　A：3回　B：2回　C：1回　D：0回)	A	A	A	A	A
季節に合わせて温度を感じられるような食事のイベントを行う。(実施　S：4回以上　A：3回　B：2回　C：1回　D：0回)	A	S	S	S	A
低リスク者の体重を低体重にならないよう、維持出来るように食事管理を行なう。(中リスク移行割合　S：0％　A：1～3％　B：4～6％　C：7～9％　D：10％以上)	A	A	S	S	A

短期入所生活介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	286	286	286	286	286	286	286	286	286	286	286	286	3,432
平均	9.53	9.23	9.53	9.23	9.23	9.53	9.23	9.53	9.23	9.23	9.86	9.23	9.38
実績	312	331	331	387	254	298	301	281	337	345	372	448	3,997
平均	10.40	10.68	11.03	12.48	8.19	9.93	9.71	9.37	10.87	11.13	12.83	14.45	10.92

【総括】

（介老）

今年度の新規入所者の 8 割以上が介護 4 以上で平均介護度も 3.7 と前年の 3.39 を上回り重度化が進んでおります。医療依存度の高い入所者の比率は前年とほぼ変わらない状況でありましたが、協力医療機関との連携強化により年間の延べ入院者数は前年の 1,538 名から 877 名とほぼ半分に留めることができました。

認知症の日常生活自立度Ⅲ以上が半数を超えており今後の進行も懸念されることから、進行予防も含め認知症ケアのさらなるスキルアップが求められております。また、介護職員による不適切なケアが発生したことから施設全体で権利擁護についての意識改革を行い、高齢者の尊厳の保持に努めて参ります。

安全対策委員会の発信により後半に掛けてひやりはっと報告書の提出が増えたことは介護現場でのリスクに対する予防意識の啓発が奏功しているといえます。来年度の重点目標であるリスクマネジメントに繋げられるよう事故に対する意識強化を図り入所者の安心できる生活の確保に努めて参ります。

（短期）

前年に比べ緊急の依頼も多く、入院者の空床をより有効活用することができました。以前から力を入れていたイベントの複数開催も好評頂き、リピーターの定着も見られております。ご家族の利用に対する理由やご利用者の望む過ごし方も様々であり、きめ細やかなサービスが求められていることから、今後はご利用者の生活やその背景にも焦点を当て関係事業所との連携を図り在宅生活の支援に努めて参ります。

（地域との関わりについて）

前年に引き続き地域行事への参加を積極的に行いました。また、今年度は地域貢献事業のひとつとして、市の産業祭に参加し認知症予防や生活習慣病予防の啓発活動を行いました。

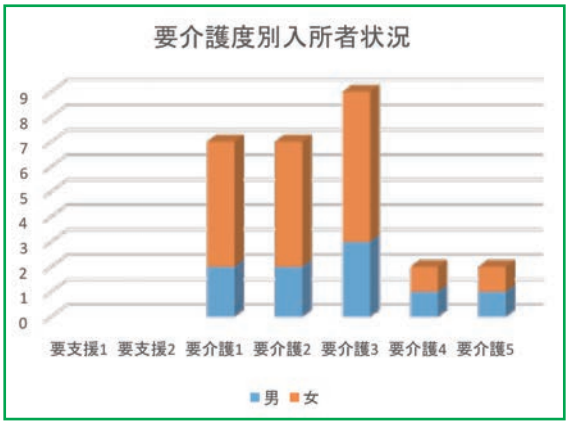
（職員について）

施設開設から 3 年が経ち介護福祉士取得に向け実務者研修受講者が多く見られました。また、年度末に掛けて法人の取り組みである働き方改革として定時退勤のための業務効率化を図って参りました。仕事に対する意欲の向上のためにも内外部研修の参加を促すとともに、継続的な職場環境の改善に努め個々のモチベーションアップに繋げて参ります。

認知症対応型通所介護センター　グリーンハウスひたちなか

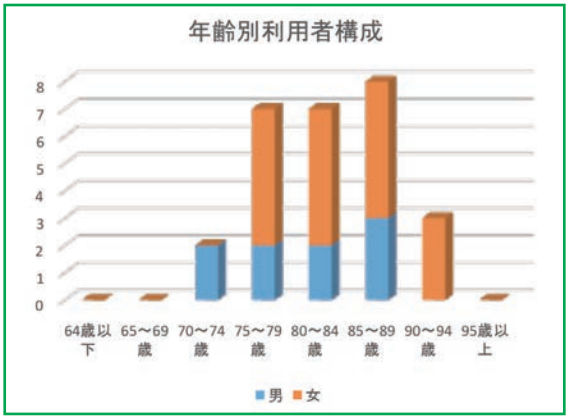
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	2	2	3	1	1	9
女	0	0	5	5	6	1	1	18
計	0	0	7	7	9	2	2	27
平均介護度	2.3							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	2	2	2	3	0	0	9
女	0	0	0	5	5	5	3	0	18
計	0	0	2	7	7	8	3	0	27



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	88	72	81
女	91	75	87
全体	91	72	80

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	M	合　計
男	0	0	0	3	4	0	2	0	9
女	0	0	0	7	5	4	2	0	18
計	0	0	0	10	9	4	4	0	27

主な行事内容

4月　お花見

10月　パン食い競争

12月　年越し蕎麦

3月　寿司バイキング

会議

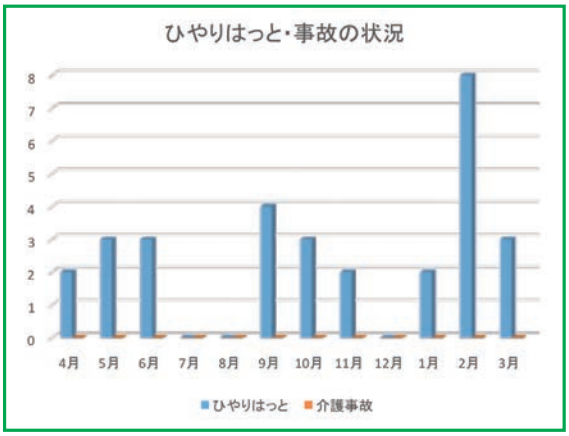
	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
通所職員会議	12	60	業務申し合せ、行事検討、ケース検討
総合支援事業会議	6	36	プログラム内容申し合わせ

研修報告

年月日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 5.23	深畑早苗	土浦文化会館	認知症・アルツハイマー型認知症を理解する
10.26	深畑早苗	県庁会議室	女性のためのモチベーションアップ講座
H29. 1.20 ～ 2.27	枝川庄五	東京中央区研修センター つくば国際会議場	平成 28 年度　認知症指導者養成研修・勉強会
3.15	枝川庄五	東京ビックサイト	全国介護施設産業展

ひやりはっと・事故の状況

月 / 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	2	3	3	0	0	4	3	2	0	2	8	3
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4	5	事業計画について・認知症ケアについて	10	5	ショートステイ併用利用者情報共有について
5	5	高齢者のリスクマネージメントについて	11	5	食中毒・感染予防と対策について
6	5	認知症ケア及び総合事業について	12	5	介護予防について
7	5	認知症高齢者のコミュニケーションについて	H29. 1	5	感染症対策について
8	5	緊急時対応について	2	5	年間の総括について
9	5	ケースカンファレンスについて	3	5	平成 29 年度事業計画について

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①稼働率向上と安定化を図る為、SS事業所や各事業所と連携し、地域･居宅･病院へのPR活動を行ない利用者確保に努める。	A	A	S	S	A
②認知症状・進行状況に合わせた適切な、介護計画の作成及びサービス実施状況を毎月評価することができる。	S	S	S	S	S
③認知症ケアに関する専門知識を身に付けるため、各事業所間で、定期的な研修・勉強会を実施し、充実したサービスの提供に努める。	A	A	A	A	A

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	250	254	255	260	270	260	260	270	260	240	240	260	3,079
実績	266	270	266	278	270	276	274	259	285	241	243	280	3,208

【総括】

事業開始から丸3年が経過し事業所の認知度も広がり現在の利用登録者27名。当事業所をご利用されている方のほとんどが短期入所生活介護を併用されており、予定よりも稼動が減少する要因でもある。事業所として運動機能向上に取組むと共に、認知症進行軽減プログラムとして脳の体操やシナプソロジーを実施致してきた。居宅介護支援事業所と連携し、利用者及び家族のニーズに応えられるようスタッフ一人ひとりが活動の工夫を行い介護事故0件とする事も出来た。

具体的な活動内容において、誕生会、おやつ作り、外出行事、脳トレ（市内初導入）等はもちろんの事であるが､今年度は食事イベントを主として実施してきた。結果､突発的な依頼も増え､前年度とは違った楽しみのある活動が出来たと思われる。また健康面においても、運動機能向上により「元気になった」や「介護負担の軽減になった」という声も頂く事ができた。スタッフ間の連携が良く取れイベントや行事を増やした事が新規利用者の獲得が出来たとも考えられる。２９年度は新体制にもなる為、より専門的な認知症ケアを推進していく事が課題となる為、個々に合わせた専門的な対応を心掛け、法人内の同様事業所と連携を密に取り、今後も在宅生活を継続していけるよう様々なサービスを具体的に支援することが出来るよう努めていく。

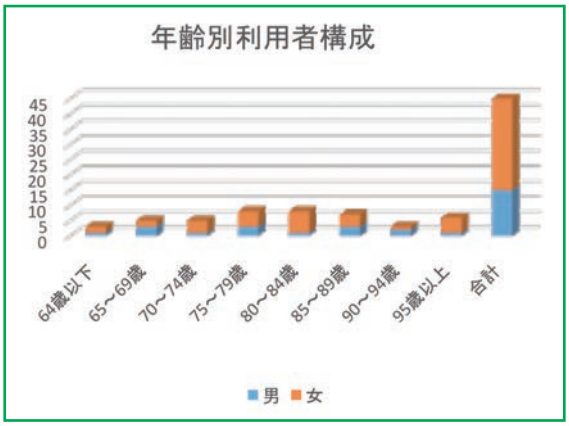
訪問看護ステーション　グリーンハウスひたちなか

要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
男	2	0	2	6	2	1	0	1	14
女	3	3	8	2	6	3	3	3	31
計	5	3	10	8	8	4	3	4	45
平均介護度	1.88								

年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	3	1	3	1	3	2	1	15
女	2	2	4	5	7	4	1	5	30
計	3	5	5	8	8	7	3	6	45



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	98	61	80.2
女	100	17	79.7
全体	100	17	80.2

市町村別利用者状況

性別＼市町村	水戸市	ひたちなか市	那珂市	東海村	合計
男	3	11	0	1	15
女	4	13	3	10	30
計	7	24	3	11	45

会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
事業内カンファレンス	19	93	事業内申し送り、ケース検討

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 8. 6	坂場紀子	茨城県メディカルセンター	Wellbeing の視点から褥瘡対策を考える
10. 6	坂場紀子	水戸医療センター	褥瘡評価（DESIGN － R）の実際とケア
10.13	粉川裕正	ひたちなか市役所	ひたちなか市　他職種協働のための意見交換会
10.18	坂場紀子	水戸赤十字病院	インスリン治療を受ける患者の支援
10.28 ～ 29	平松香代子	茨城県看護協会	H28 年度訪問看護ステーション管理者養成研修
11.26	粉川裕正	茨城県看護研修センター	茨城県訪問看護ステーション連絡協議会 H28 年度事業者並びに管理者会議
12.18	島田孝寿	つくば国際大学	茨城県訪問リハビリテーション実務者研修会
H29. 1.19	平松香代子 粉川裕正	ひたちなか市役所	ひたちなか市　他職種協働のための意見交換会
1.21	平松香代子	茨城県看護研修センター	H28 年度茨城県看護協会保健師職能委員会研修 地域包括ケア研修会
2.25	平松香代子	茨城県メディカルセンター	認知症フォーラムｉｎ水戸
2.28	島田孝寿	茨城県立県民文化センター	茨城県訪問リハビリテーション実務者研修会

職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28.4.18	5	H28 年度事業計画について	10.12	5	在宅酸素に関する基礎知識、機器の説明
6.20	5	福祉用具の正しい選び方	12.12	5	自宅で出来るリハビリ体操について
8.22	5	指定難病特定医療費の法制度の理解について	H29. 2.20	5	感染症予防の基礎知識

年間サービス実施目標

目　　標	6 月評価	9 月評価	12 月評価	3 月評価	年間評価
訪問看護利用者の確保のために、居宅介護支援事業所や病院の医療連携室等へ定期的な営業活動を行う。	S	S	S	S	S
職員の質が向上するように研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図る。	D	B	S	S	B
利用者の安定した確保のため、医療機関や他事業所との連絡調整を密に図り、スムーズに新規利用者確保を行う。	S	S	S	S	S

利用実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
目標	270	320	370	380	370	380	380	380	370	370	370	380	4,340
実績	211	236	220	208	200	228	253	269	276	273	296	328	2,998

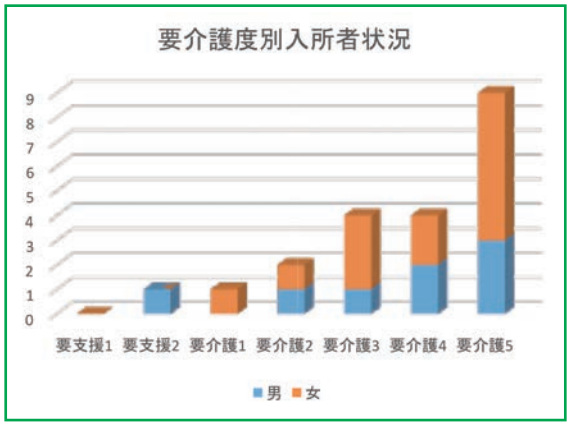
【総括】

・上半期は利用者確保に苦慮したが、下半期は徐々に利用者が増加しております。
・医療機関や居宅介護支援事業所との連絡調整を密に行うことで、事業所に対する信頼度も向上しサービス依頼に繋がっているものと考えます。
・下半期は職員のスキルアップのため、積極的に研修への参加も出来ました。

訪問入浴介護センター　グリーンハウスとちぎ

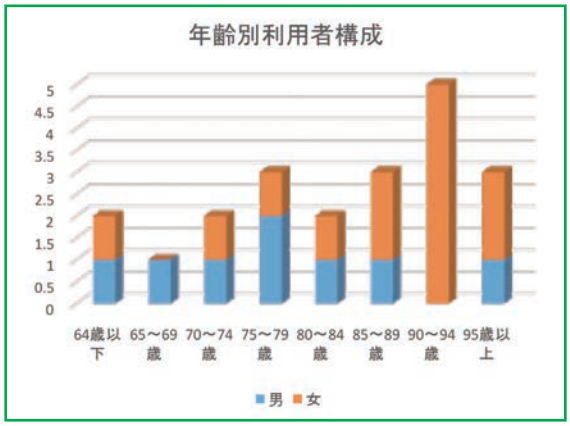
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	0	1	0	1	1	2	3	8
女	0	0	1	1	3	2	6	13
計	0	1	1	2	4	4	9	21
平均介護度	3.8							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	1	1	2	1	1	0	1	8
女	1	0	1	1	1	2	5	2	13
計	2	1	2	3	2	3	5	3	21



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	100	59	77.3
女	99	63	86.6
全体	100	59	81.95

地域貢献事業

年　月　日	参加人数	内　容
H28. 9.14・28	職員２～３名、参加者６～８名	ライフクオリティとちぎ　体操と栄養学
10.12・26	職員２～３名、参加者６～８名	ライフクオリティとちぎ　体操と基礎医学

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
利用者の状況を適切に把握し、居宅サービス計画書に沿った入浴介護計画を作成し適切なサービスを提供する。毎月の提供の結果と状態変化を担当の介護支援専門員に文書で報告する。 (S：100％　A：95％　B：90％　C：85％　D:80％未満)	S	S	S	S	S
車両の運行に対して十分な注意を払い、運転者のみならず同乗者も適切な安全確認を行い事故防止に努める。 (S：事故発生0件　D：事故発生1件以上)	S	S	S	S	S
出発前に身だしなみを整え、言葉使いにも気を付けてサービスの提供を行う。また、ご家族やケアマネから見ても利用者のプライバシーが保護出来ているサービスを行う。 (家族・ケアマネへの聞き取り結果　S：できている　D：できていない)	S	S	S	S	S
毎月勉強会を実施し、職員間の情報共有及び安全で適切なサービス提供を行うための知識と質の向上を図る。 (S：毎月実施　D：未実施)	S	S	S	S	S

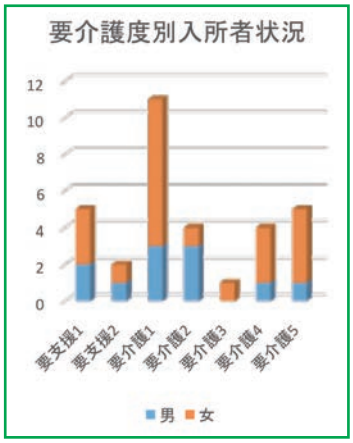
【総括】

訪問入浴サービスは介護保険でのご利用はもちろん、自宅でお風呂に入ることのできない障害者へのサービスも行っております。現在利用者は2歳～100歳と幅広く、介護度が比較的高い方が多いので褥瘡の処置・パウチの交換・排便介助などの医療的処置も、看護師の同行により行っています。利用者へ個別のサービスを行い、喜んで頂ける訪問入浴をお届けしていきたいと思っています。

訪問介護センター　グリーンハウスとちぎ

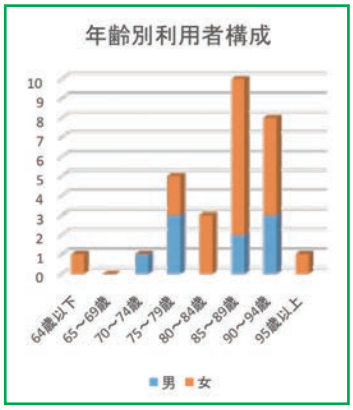
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	1	3	3	0	1	1	11
女	3	1	8	1	1	3	4	21
計	5	2	11	4	1	4	5	32
平均介護度	2.0							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	1	3	0	2	3	0	9
女	1	0	0	2	3	8	5	1	20
計	1	0	1	6	3	11	9	1	32



訪問介護利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(件)
身体介助	333	353	438	362	318	314	311	313	299	276	280	374	3,971
生活援助	306	253	221	305	284	263	372	366	345	351	309	345	3,720
予防介護	50	45	48	51	48	49	60	56	55	46	50	61	619
障害者	45	45	43	50	47	49	53	52	56	53	49	54	596
移送サービス	14	21	15	13	12	12	15	13	10	14	11	10	160
自費（身体）	6	6	7	6	5	7	5	7	5	6	5	6	71
自費（生活）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	754	723	772	787	714	694	816	807	770	746	704	850	9,137

性別＼年齢	最高	最低	平均
男	97	71	85
女	98	63	86.3
全体	98	63	86

地域別登録者

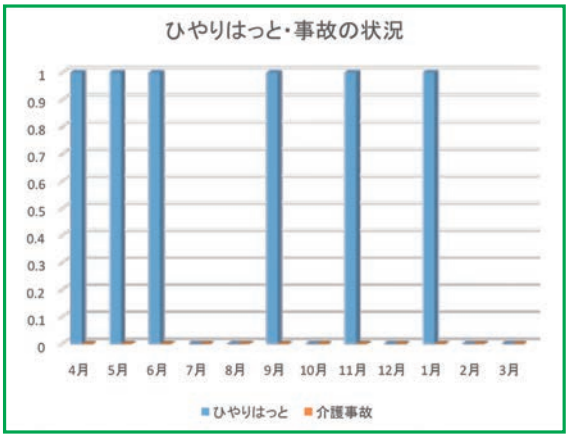
地域	茂木町	市貝町	益子町	芳賀町	合　　計
計	26	2	5	0	33

研修報告

年月日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.22	高松みち子	益子町役場	在宅医療連携拠点整備促進事業の説明
9.27	髙橋みち子	益子町役場	在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
12.21	髙橋みち子・高松みち子	せんぼんの家	施設内外における高齢者虐待防止について
H29. 1.27	髙橋みち子	芳賀郡市医師会	疼痛コントロールの勉強会「講演：自宅で痛みなく過ごすには」
3 .7	髙橋・高松・佐々木・平野	全体研修	講演：働き方改革
3.14	髙橋みち子	栃木県総合文化センター	実地指導

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.27	6	高齢者の尊厳について・連絡・申し送り	10.28	7	認知症について・連絡・申し送り
5.26	6	車両の安全運転について・申し送り	11.30	4	感染症について・連絡・申し送り
6.24	8	緊急時の対応（非常時のマニュアル）他	12.22	9	介護技術（オムツの当て方）・連絡他
7.29	7	高齢者の脱水について・連絡・申し送り	H29. 1.20	2	介護技術（移動時の介助方法）・連絡
8.26	6	介護技術（食事介助）・連絡・申し送り	2.24	5	障害支援について・連絡・申し送り
9.22	11	介護技術（口腔ケア）・連絡・申し送り	3.16	5	介護予防について・連絡・申し送り

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①ご利用者の尊厳を守り、誠意を持ち安心したサービス提供をする。 (評価 S：100 点　A：90 点以上　B：80 点以上　C：70 点以上　D：60 点以下)	A	A	S	S	A
②車両の始業点検をし、運行は安全運転に心がけ事故防止に努める。 (S：事故発生 0 件　D：事故発生 1 件以上)	S	S	S	S	S
③職員間の情報共有及び安全なサービス提供を行うための知識と質の向上を図るため毎月勉強会を行う。(S：毎月実施　D：未実施)	S	S	S	S	S
④職員間の報告・連絡・相談を徹底し、統一された支援に取り組む。３ヶ月間に対し接遇状況確認シートにて、達成・評価を行う。 (S：43 点以上　A：42 ～ 40 点　B：39 ～ 37 点　C：36 ～ 34 点　D：33 点以下)	A	A	A	A	A
⑤居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターを月１回以上訪問し、空き状況の報告を行い目標達成に結び付ける。 (評価 S：100 点　A：90 点以上　B：80 点以上　C：70 点以上　D：60 点以下)	S	S	S	S	S

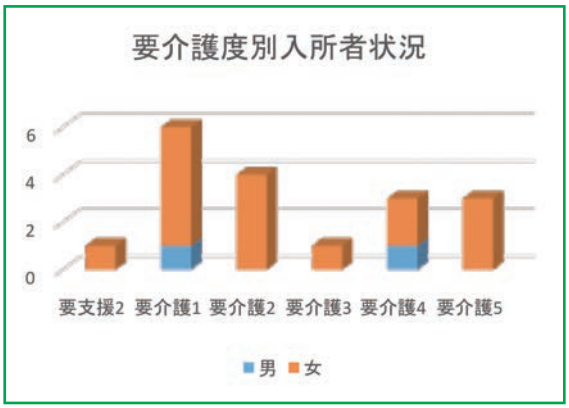
【総括】

利用者・家族の思いを気づき、感じとり、安心した自分らしい日常生活が送れるよう、職員一人一人のスキルアップ、誠意ある支援を行い、他職種とも信頼関係を持ち、少しでも多くの利用者様との関りを持てるよう、訪問介護サービスを提供して行きます。

認知症高齢者グループホーム（共用型認知症対応型通所介護センター）
グリーンハウスとちぎ

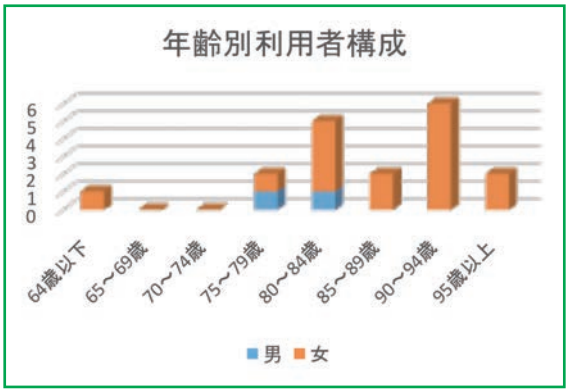
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	0	1	0	0	1	0	2
女	1	5	4	1	2	3	16
計	1	6	4	1	3	3	18
平均介護度	2.42						



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	1	1	0	0	0	2
女	1	0	0	1	4	2	6	2	16
計	1	0	0	2	5	2	6	2	18



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	83	79	81
女	97	61	87.1
全体	97	61	86.4

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）状況

自立度	障害無	生活自立		準寝たきり		寝たきり				合計
		J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	
男	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
女	0	0	1	4	8	1	2	0	0	16
計	0	0	1	5	8	1	3	0	0	18

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	Ｍ	合計
男	0	0	0	1	1	0	0	0	2
女	0	1	2	5	1	5	2	0	16
計	0	1	2	6	2	5	2	0	18

主な行事内容

敬老祝賀会

茂木中央保育園来所

クリスマス会

年越しそば作り

会議

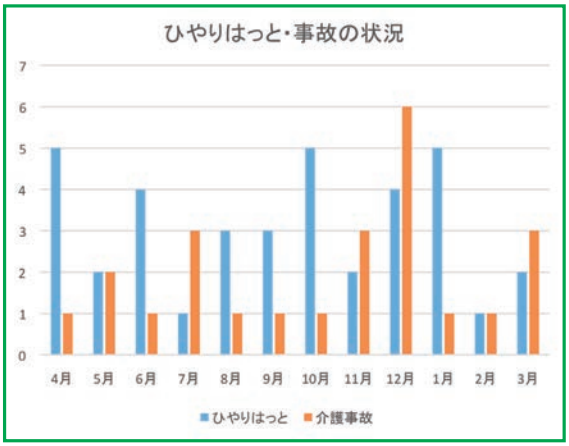
	年間 実施回数	年間 延参加人数	実施内容
職員会議	12	48	個別ケア、勉強会、収支、その他
行事会議	2	8	夕涼み会、敬老会
安全対策会議	12	48	事故、ひやり検討
とちぎ運営会議	12	72	各部署現状報告、各部署間情報交換など

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6. 8	森田　学	尚生会本部	フォローアップ研修①
7.10	森田　学	尚生会本部	フォローアップ研修②
7.12	小林　直美	茨城県開発公社ビル	女性リーダーとして求められる心構えとスキル
8.26	橋本　洋子	茨城県開発公社ビル	聴く力・伝える力の磨き方
11.16	小林　直美	友部公民館	魅力ある施設運営①
12.13 ～ 14	深谷　哲央	護国会館 (宇都宮)	強度行動障害支援者養成研修 (基礎)
H29. 1.11	大塚　はるみ	尚生会本部	2 年次研修
11.25	佐藤　洋子	ケアハウス	採用者説明会
2. 3	昼岡　純	茂木町役場	高齢者虐待の早期発見のポイントや関係機関との連携
2. 4	佐藤　洋子	茂木町元気アップ館	記録の仕方講座
2.21	小林　直美	友部公民館	魅力ある施設運営②
3.12	櫻井　秀樹	栃木県総合教育センター	新人職員研修
3.28	森田　学	茂木町ふみの森もてぎ	認知症を学び地域で支えよう

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	5	2	4	1	3	3	5	2	4	5	1	2
介護事故	1	2	1	3	1	1	1	3	6	1	1	3



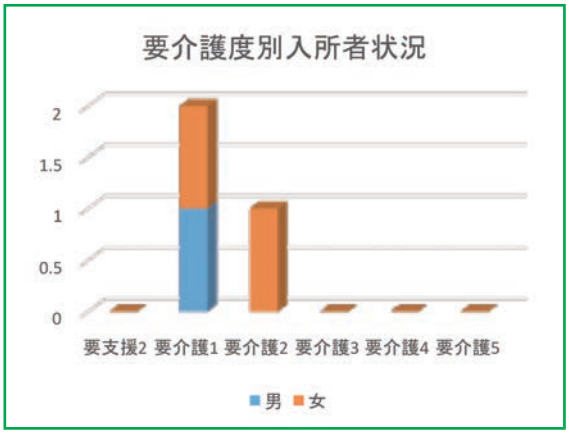
職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.19	4	高齢者の尊厳を守る、若年性認知症	10.19	4	感染症について
5.24	4	緊急時対応マニュアルについて	11.22	3	高齢者の尊厳について
6.22	5	認知症ケアと介護の基本	12.21	4	身体拘束について
7.19	3	高齢者虐待に対する考え方、口腔ケア	H29. 1.24	3	高齢者の重度化について
8.28	3	高齢者福祉施設における虐待の現状	2.16	3	看取りについて
9.13	4	認知症の症状と種類	3.17	3	新年度事業計画書について

共用型認知症対応型通所介護センター

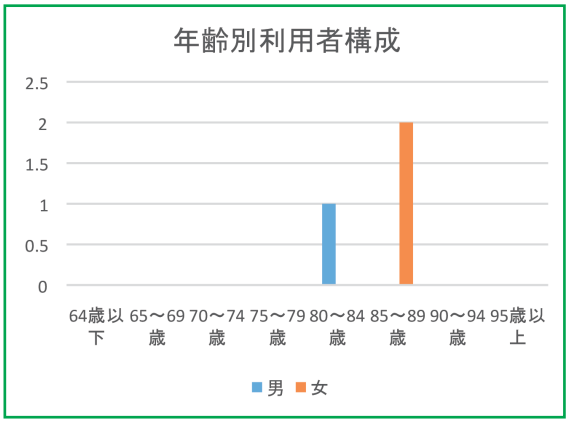
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	0	0	0	0	1
女	0	1	1	0	0	0	2
計	0	2	1	0	0	0	3
平均介護度	1.3						



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	0	0	0	2	0	0	2
計	0	0	0	0	1	2	0	0	3



年齢／性別	最高	最低	平均
男	84	84	84
女	88	88	88
全体	88	84	86.6

認知症高齢者の日常生活自立度

自立度	認知症無	Ⅰ	Ⅱａ	Ⅱｂ	Ⅲａ	Ⅲｂ	Ⅳ	M	合　計
男	0	0	0	1	0	0	0	0	1
女	0	0	1	1	0	0	0	0	2
計	0	0	1	2	0	0	0	0	3

年間サービス実施目標

目　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
利用者の尊厳を保つ為、職員の言葉使いや態度について確認、指導をしていく。（月1回アンケート実施）（3ヶ月平均30点中）　S：27点以上　A：25点以下　B：23点以上　C：21点以上　D：20点以下	A	A	A	A	A
出来る限り空床（入院者含）を出さないように、利用者の健康管理、事故予防に努めつつ、グループホーム待機者及び共用型認知通所の利用者を確保し、施設運営の安定を図る。（3ヶ月間で）　S：空床なし　A：20日以内　B：25日以内　C：30日以内　D：30日以上	S	S	S	A	A
利用者に食事を楽しんで頂けるように、毎月1回選択食（おやつ作り含）を実施する。（3ヶ月間で）　S：4回以上　A：3回以下　B：2回以下　C：1回以下　D：実施なし	S	S	S	S	S

共用型認知通所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	492
実績	32	53	55	54	55	55	49	50	31	27	38	29	528

【総括】

（グループホーム）

入所者の方々も、90歳以上が8名となりました。今後も、入所者の健康管理や生活環境に重点を置き、健康で住みやすい施設でありたいと考えております。安心と責任を念頭においたサービス提供に努めて参ります。

（共用型通所介護）

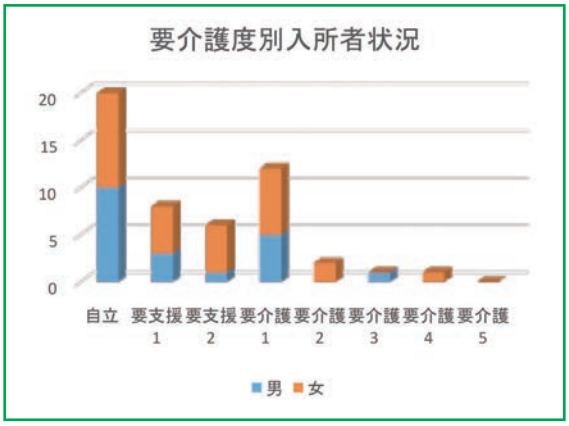
年間実績目標につきましては、達成できておりますが、12月より利用者の体調不良や入院、SS利用などにより実績が低下しております。

年間実績目標を達成できるように、再度、新規獲得の為営業に努めて参ります。

軽費老人ホーム　ケアハウスかさま

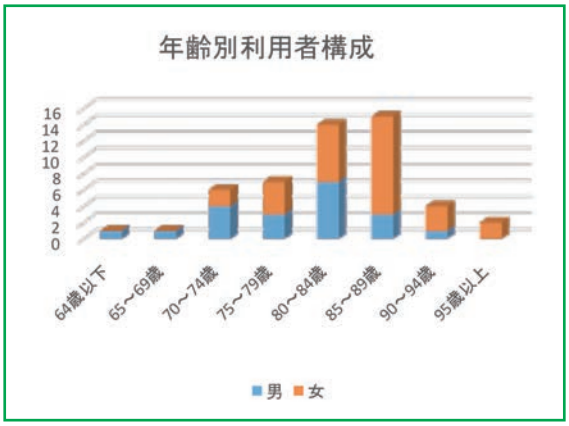
要介護度別入所者状況

要介護 / 性別	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	10	3	1	5	0	1	0	0	20
女	10	5	5	7	2	0	1	0	30
計	20	8	6	12	2	1	1	0	50
介護認定率	60%								



年齢別利用者構成

年齢別 / 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	1	1	4	3	7	3	1	0	20
女	0	0	2	4	7	12	3	2	30
計	1	1	6	7	14	15	4	2	50



年齢 / 性別	最高	最低	平均
男	92	60	79.3
女	95	73	84.4
全体	95	60	82.9

都道府県別利用者状況

都道府県 / 性別	茨城県	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	栃木県	大阪府	愛知県	大分県	合計
男	14	3	1	0	1	1	0	0	0	20
女	22	2	0	1	0	2	1	1	1	30
計	36	5	1	1	1	3	1	1	1	50

主な行事内容

たけのこ掘り

あいあい農園　さつま芋掘り

敬老祝賀会

クリスマス・忘年会

元旦祝賀会

節分・豆まき

季節の行事食

春　さくらごはん

夏　かつおの漬け丼

まぐろの漬け丼

敬老会祝い膳

秋　きのこ栗ごはん

正月　おせち料理

島根県松江市　ご当地料理・おどん

余暇活動状況

内　　容	年間 実施回数	年間 延参加人数	実施内容
シルバーリハビリ体操	24	1,380	いきいきﾍﾙｽ体操
３Ｂ体操	13	102	ﾎﾞｰﾙ・ベル・ﾍﾞﾙﾀﾞｰ体操
お茶会	11	1,098	季節の和菓子を楽しみながら、交流する。
ハーモニー	5	92	大画面ﾃﾚﾋﾞで歌詞を見ながら、思い出の曲を楽しむ。
歌謡ショー	6	90	ボランティアさんとともに、歌を歌う。

ボランティア受入状況

月	延人数	内　　容	月	延人数	内　　容
4	7	歌謡ショー、シルバー、お茶会	10	7	歌謡ショー、シルバー、お茶会
5	10	ハーモニー、シルバー、お茶会	11	6	シルバー、お茶会

6	77	保育所交流、ﾊﾜｲｱﾝﾊﾞﾝﾄﾞ、その他	12	7	歌謡ショー、シルバー、お茶会
7	10	ハーモニー、シルバー、お茶会	1	20	軽音楽、ハーモニー、シルバー
8	7	歌謡ショー、シルバー、お茶会	2	7	歌謡ショー、シルバー、お茶会
9	10	ハーモニー、シルバー、お茶会	3	10	ハーモニー、シルバー、お茶会

会議・委員会

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	91	入所者について・行事確認・施設長より
厨房会議	12	47	メニュー・調理法の確認、その他の確認
懇談会（職員･入所者）	12	121	行事予定・施設内生活について、感染症予防・対策について、食事メニューについて

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.15	秋山美奈子	県学校給食会研修室	福祉専門研究会総会、研修会
9. 2	秋山美奈子	茨城県立健康ﾌﾟﾗｻﾞ	給食研究会
9.7 ～ 8	八源寺史千	県総合福祉会館	ＯＪＴマネジメント力向上研修
9. 9	畑岡　武	県総合福祉会館	施設長・管理者研修
9.22	大月春香	県総合福祉会館	接遇・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技術向上研修
9.28	八源寺史千	双葉陽だまり館	県央地区ケアマネージャー・相談員研究会
11. 8	秋山美奈子	県総合福祉会館	給食研究会６ブロック合同研修会
H29. 1.30	飯島厚美	友部社会福祉会館	第９回職員研修会：防犯対策について
2.28	秋山美奈子	県総合福祉会館	社会福祉施設等　給食担当職員研修

地域貢献事業

年　月　日	参加人数	内　　容
H28. 8.21	22	オレンジカフェ
9.18	12	オレンジカフェ
10.16	14	オレンジカフェ
11.20	14	オレンジカフェ
12.18	30	オレンジカフェ・ミニコンサート
H29. 1.15	14	オレンジカフェ
2.19	17	オレンジカフェ
3.19	12	オレンジカフェ

H28. 7.24	11	脳若料理教室
10. 9	12	脳若料理教室
11. 6	12	脳若料理教室
H29. 1.22	12	脳若料理教室
2.12	12	脳若料理教室
H28. 4.23	1	本部周辺ゴミ拾い
6. 5	2	ケアハウス周辺清掃
10.22	1	グリーンハウスともべ周辺清掃
H29. 2.19	2	ケアハウス周辺ゴミ拾い

職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.15	8	個人の尊厳について	10.18	8	認知症について（1）
5.20	8	食中毒について	11.18	6	ﾉﾛｳｨﾙｽについて
6.17	8	高齢者の脱水症について	12.16	7	統合失調症について
7.15	8	熱中症について	H29. 1.20	7	高齢者の交通事故予防について
8.19	7	火災・避難時の対応について	2.17	7	認知症について（2）
9.16	8	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞについて	3.17	8	高齢者の転倒事故予防について

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
法人理念・方針を踏まえ、入所者の要望や改善等に関する対応策の状況報告を受け、併せて財務状況（各期の資産・事業収支）について周知、理解を促し適正な施設運営管理を推進する。(実施回数　S: 5回以上、A: 4回、B: 3回、C: 2回、D: 1回)	A	A	S	S	A
適正な業務処理、職場環境の活性化のため、定期的に個人別・職位別の指導及び助言を実施する。(実施回数　S: 5回以上、A: 4回、B: 3回、C: 2回、D: 1回)	S	A	S	S	A
入所者の心身の機能低下による日常生活状況を見極め、相談援助を行い各関係機関との連携を図りながら、各種サービスの利用を勧め継続した入所生活ができる環境を整える。(実施率　S:90% 以上、A:80% 以上、B :70% 以上、C:60% 以上、D:60% 未満)	A	S	A	A	A
各種教室を開催し、入所者の心身の健康管理及び栄養指導・機能訓練等行い、QOL・ADL の維持、向上に務め健康増進を図る。(実施回数　S: 3ヶ月で 15 回以上、A: 3ヶ月で１０回以上、B: 3ヶ月で6回以上、C: 3ヶ月で3回以上、D: 3ヶ月間なし)	A	A	A	A	A
入所者の希望メニューを積極的に取り入れ、提供する。(実施回数　S: 3ヶ月で３０食以上、A: 3ヶ月で 29 ～ 25 食　B: 3ヶ月で 24 ～２０食、C: 3ヶ月で 19 ～ 15 食、D: 3ヶ月で 14 ～ 10 食)	S	S	S	S	S
入所者同士や地域との交流を図る機会を作るために、季節外出や施設内行事を実施する。(実施回数　S: 3ヶ月で 10 回以上、A: 3ヶ月で6回以上、B: 3ヶ月で3回以上、C: 3ヶ月で1回以上、D: 3ヶ月で行事無し)	S	A	S	A	A

【総括】

（施設）

入所者が高齢化してきており、その為心身の機能低下がみられております。また、要介護認定者も年々増加傾向にあり、各種サービスを利用しながら生活を送っております。健康増進のための各種教室を継続し、入所者の ADL・QOL 維持に繋げていき、安全・安心な生活がおくれるようにしていきたいと思います。

（地域）

「脳若料理教室」・「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催、地域との交流の場を設け、コミュニケーションを図ることができました。改善点など検討し、引き続き、開催していきたいと思います。

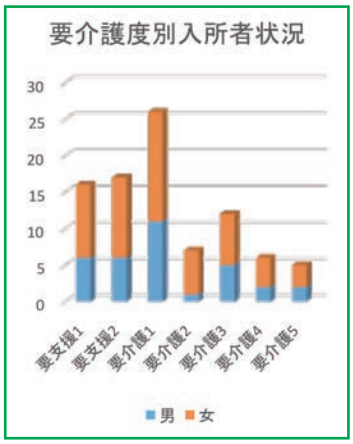
（職員）

地域貢献事業実施計画・尚生会版健康プラン２１でケアハウスを拠点として挙げた、ライフクオリティーかさま（予防ﾘﾊﾋﾞﾘ）・脳若料理教室（認知症予防)、また、笠間市委託事業オレンジカフェ (認知症カフェ）など、地域の方が中心となって参加していただきました。この事業を通じて職員のなかで地域貢献、情報発信などが意識づけられました。

介護センター　かさま

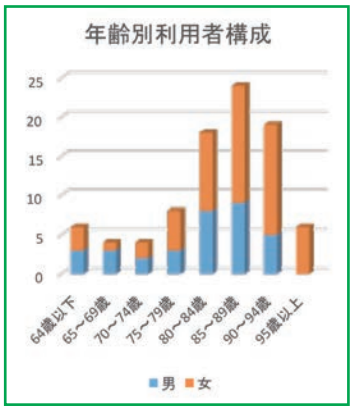
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	6	6	11	1	5	2	2	33
女	10	11	15	6	7	4	3	56
計	16	17	26	7	12	6	5	89
平均介護度	1.78							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	3	3	2	3	8	9	5	0	33
女	3	1	2	5	10	15	14	6	56
計	6	4	4	8	18	24	19	6	89



訪問介護利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(件)
身体介助	448	407	425	385	401	418	400	393	383	393	449	473	4,975
生活援助	440	423	413	403	442	410	403	409	427	354	347	380	4,851
予防介護	181	195	203	205	214	201	199	201	192	183	194	214	2,382
障害者	8	9	9	9	9	8	9	9	8	4	4	9	95
移送サービス	24	44	46	38	38	35	29	29	37	44	28	0	392
自費（身体）	0	2	1	2	7	4	1	8	1	4	6	0	36
自費（生活）	42	46	26	28	25	29	25	36	21	20	18	0	316
計	1,143	1,126	1,123	1,070	1,136	1,105	1,066	1,085	1,069	1,002	1,046	1,076	13,047

性別＼年齢	最高	最低	平均
男	92	46	80
女	103	62	84
全体	103	46	82

地域別登録者数

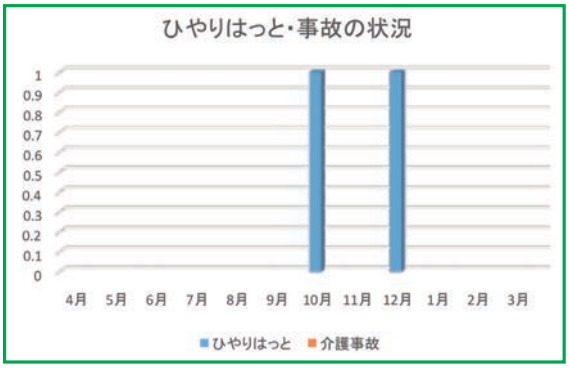
地域	施設(ｹｱﾊｳｽ)	笠間市街	石井箱田	福原稲田	池野辺大橋	下市毛加賀田	平町	友部	本戸	施設(いずみ)	合計
計	20	24	5	12	3	4	2	10	4	5	89

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 7. 9	薗部　浩美	茨城県職業能力開発協会	指定訪問介護事業所におけるサービス提供責任者
6.29	森田　友子	茨城県総合福祉会館	地域包括ケアの推進「新しい総合事業」
12.12	薗部　浩美	茨城県総合福祉会館	介護予防の取り組みと訪問型サービスのあり方について
H29.3.25～26	薗部　浩美	友部社会福祉協議会	移送サービス運手者認定講習会

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



職員勉強会

年　月　日	人　数	内　　容
H28. 4.15	13	新年度の内容の説明
5.20	13	事例検討会
6.10	14	新しい取り組み等内容説明
7.15	10	事例検討会・実技講習
8. 5	9	認知症カフェ等の説明
9.16	9	感染症の講習会
10.27	10	事例検討会
11.18	10	調理実習会
12.14	10	研修会の説明・事例検討会
H29. 1.20	9	事例検討会
2.17	9	事例検討会・実技講習
3.17	12	研修会の説明・事例検討会

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
利用者様の尊厳を守り誠意を持ち、安心したサービスをする（評価表にて評価する）（S:100% 以上　A：90% 以上　B：80% 以上　C：70% 以上　D：60% 以下）	A	A	A	A	A
車両の始業点検をし、運転時は安全運転に心掛け事故防止に努める。（S: 事故発生 0　　D: 事故発生 1 件以上）	D	S	S	S	A
職員間の情報共有及び安全なサービス提供を行うため、毎月の勉強会を実施する。（S: 毎月実施する　D：未実施）	S	S	S	S	S
職員間の報告・連絡・相談を徹底し、統一された支援に取り組む（評価表にて評価する）（S:100% 以上　A：90% 以上　B：80% 以上　C:70% 以上　D：60% 以下）	A	A	A	A	A
居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターを月 1 回以上訪問し、空き状況の報告を行い目標達成に結び付ける。（S：100% 以上　A：90% 以上　B：80% 以上　C：70% 以上　D：60% 以下）	A	A	A	S	A

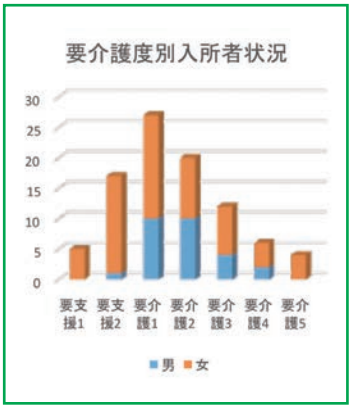
【総括】

利用者様、職員の人数が増え、職員の情報共有及び安全なサービスを行うため勉強会をおこない、統一された支援に取り組みました。また利用者様の人権、意志の尊重、尊厳を守り、安心したサービスを提供させて頂きました。今後も信頼関係をもとに訪問介護サービスを提供してまいります。

通所介護センター　グリーンハウスともべ

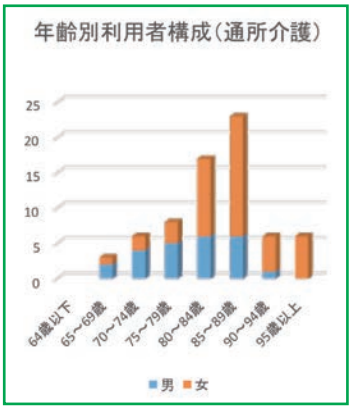
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	1	10	10	4	2	0	27
女	5	16	17	10	8	4	4	64
計	5	17	27	20	12	6	4	91
平均介護度	1.62							



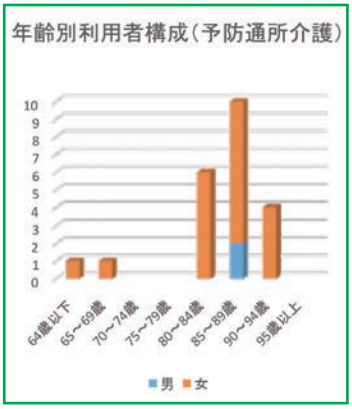
年齢別利用者構成（通所介護）

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	2	4	5	6	6	1	0	24
女	0	1	2	3	11	17	5	6	45
計	0	3	6	8	17	23	6	6	69



年齢別利用者構成（予防通所介護）

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	2	0	0	2
女	1	1	0	0	6	8	4	0	20
計	1	1	0	0	6	10	4	0	22



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	90	67	80.4
女	99	61	87
全体	99	61	84.9

主な行事内容

お田植祭

農業体験

夏祭り

近隣小学校交流会

稲刈り

さんま祭り

大人の遠足

体操教室

かかしコンテスト出展

忘年会

バザー・ギャラリー展

年度末大運動会

会議

	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
職員会議	12	125	毎月の実績報告・個別ケア・プログラム内容について

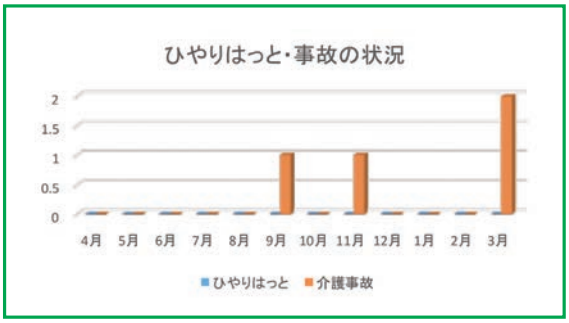
研修報告

年月日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 4.22	川澄真紀子 金子恵子	長野県飯綱町 いきのび協会	シナプソロジー研修
4.25	杉山ますみ 綿引喜代子	東京都　YMCA	アクアキネシス研修
4.12	清水久美子	仙台市 ボディジャンプ	運動指導研修
4.13	清水久美子	仙台市 ベスティバ	味覚指導研修
4.19	清水久美子	東京両国 ルネサンス	シナプソロジー研修
5.29	清水久美子	東京両国 ルネサンス	シナプソロジー研修
6. 6	松本太一	神栖市　福祉会館	シナプソロジー研修
6. 7	清水久美子	東京両国 ルネサンス	シナプソロジー研修

6.13	清水久美子	港区　和みヨガ協会	和みヨガ研修
7. 5	清水久美子	中野区　中野 ZERO	メンタル研修
7.12	清水久美子 中田彩	両国　ルネサンス	シナプソロジー研修
7.14	中田彩	渋谷　ルネサンス	シナプソロジー研修
7.19	清水久美子	仙台市 ボディジャンプ	運動指導研修
7.23	清水久美子	茨城県　老健ゆうゆう	メンタル研修
7.26	川澄真紀子 金子恵子	大宮市　市民センター	和みヨガ研修
7.28	中田彩	渋谷　ルネサンス	シナプソロジー研修
7.31	松本太一	茨城県　水戸市	シナプソロジー研修
8. 9	清水久美子	仙台市 ボディジャンプ	運動指導研修
8. 2	大津定子 深谷明美	東京都　国際展示場	国際福祉機器展
8.16	清水久美子	仙台市福祉プラザ	メンタルパワー研修
8.25	清水久美子	相模原市福祉センター	介護予防指導者研修
9. 4	松本太一 川澄真紀子	茨城県　老健ゆうゆう	介護の学び
9.13	松本太一	コミュニティーセンター城里	安全運転管理者研修
10.15	大津定子 綿引喜代子	両国　ルネサンス	シナプソロジーフォローアップ研修
10.25	松本太一 中田彩	水戸市文化センター	介護予防指導研修
11.10	清水久美子	仙台市福祉プラザ	メンタルコーチ入門講座
11.20	川澄真紀子 菅野一恵	相模原市 スタジオ SOS	介護予防指導者研修
H29. 1. 7	杉山ますみ 綿引喜代子	東京都　北千住	ひめトレ　Basic
1. 9	大津定子	グリーンハウスともべ	介護予防指導者向け筋力トレーニングセミナー

ひやりはっと・事故の状況

項目＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護事故	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.28	10	メンタル (自分の心について)	10.12	10	介護予防について①

5.17	7	メンタル (相手の心について)	11.17	8	介護予防について②
6.21	10	メンタル (仲間の心について)	12.15	10	感染症予防について
7.22	8	緊急対応について	H29. 1.13	7	認知症について①
8.18	8	健康管理について①	2.16	8	認知症について②
9.21	7	健康管理について②	3.13	10	身体拘束について

年間サービス実施目標

目　　標	6 月評価	9 月評価	12 月評価	3 月評価	年間評価
法人理念・基本方針を踏まえ、利用者の要望や改善等に対する対応策の状況報告を受け、併せて財務状況（各期の資金・事業収支）について周知、理解を促し、適正な施設運営管理を推進する。	A	A	S	S	A
環境整備に心がけ、来客者にとって快適な空間及び利用者環境を整え、高齢者の尊厳について職員全体で協議し、職員のメンタルバランスを安定させる。	S	A	S	S	A
職員の質の向上を目指し、研修会、勉強会を通じ発想、待遇・知識のトータル向上を図り独創的で質の高いサービスを提供する。	S	S	S	S	S
利用者の体の維持向上を目的とし機能訓練のアセスメント、実施、評価を 3 か月に 1 回行い、体の状態を確認しながらプログラムを進め、満足度につなげる。	A	A	A	A	A
利用する側の視点に立つために、各曜日、利用者目的別に定期的に聞き込みを行い、本人・家族・施設のバランスを確認し支援を進めていく。	A	S	S	S	A
心・食・体をコンセプトに五感を使って感覚を磨くことで自分の体と自分で感じる事ができるようになり、体力・メンタル面での充実を実感でき、グリーンハウスともべはもう一つの家のような場所として使うことが出来る施設に創り上げ目標実績数を確保する。	S	S	S	S	S

通所介護利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
目標	615	615	615	615	630	645	630	620	620	620	620	620	7,465
実績	646	627	634	639	629	652	673	648	647	596	615	675	7,681

予防介護利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
プール	151	127	159	171	129	190	144	121	126	140	152	107	1,717
スタジオ	56	36	68	63	57	86	61	69	68	37	54	35	690

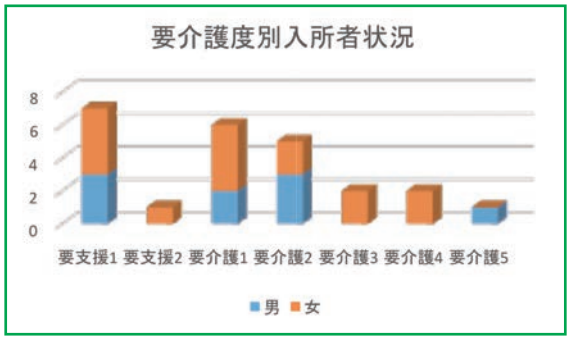
【総括】

28 年度最終の登録者数 91 名。前年度と比べ全体的に要介護の登録者数が増えています。今年度は曜日別にテーマを設け、各曜日ごとの活動に取り組んで参りました。年末、年度末には年間活動の成果発表の場として利用者主体の行事を開催いたしました。又、近隣住民、学童児童との交流の場を定期的に作れたことで、地域にとって開かれた事業所として、ご家族や近隣の方に認識していただけたと思います。職員教育としては、法人内事業所間で交換研修会を行い質の向上に努めました。今後の取り組みとして、利用されている方がいつまでも在宅で暮らしていけるような体創りに努めていきます。

小規模多機能型居宅介護　グリーンハウスやまうち

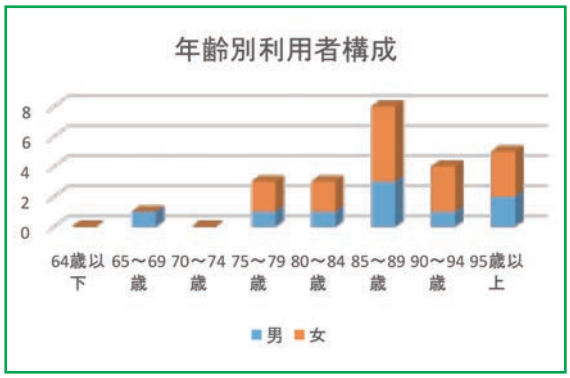
要介護度別入所者状況

要介護 / 性別	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
男	3	0	2	3	0	0	1	9
女	4	1	4	2	2	2	0	15
計	7	1	6	5	2	2	1	24
平均介護度	1.48							



年齢別利用者構成

年齢別 / 性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	1	0	1	1	3	1	2	9
女	0	0	0	2	2	5	3	3	15
計	0	1	0	3	3	8	4	5	24



年齢 / 性別	最高	最低	平均
男	98	67	82.5
女	97	79	88
全体	98	67	87.2

主な行事内容

８月　夏祭り
流しそうめん

９月　やまうちファーム
芋堀り

１１月
クリスマスリース作り

２月　お雛様
作品展見学

会議

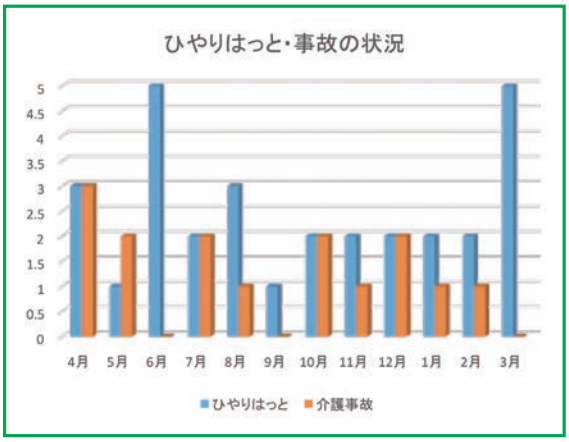
	年間実施回数	年間延参加人数	実施内容
検討会議	12	84	個別サービス　安全対策　担当者会議

研修報告

年　月　日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 6.14	関沢　恭鷹	茨城県開発公社ビル	管理者のスキルアップを目指して
11. 6	関沢　恭鷹	とちぎ健康の森	介護サービスの質を向上させる介護記録講座
12. 5	小堀　明美	茨城県薬剤師会館	キャリアアップ講座
2. 4	関沢　恭鷹	元気アップ館	記録の仕方講座
2. 4	桜井　志津子	元気アップ館	記録の仕方講座

ひやりはっと・事故の状況

月 / 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひやりはっと	3	1	5	2	3	1	2	2	2	2	2	5
介護事故	3	2	0	2	1	0	2	1	2	1	1	0



職員勉強会

年月日	人数	内　容	年月日	人数	内　容
H28. 4.14	9	ＡＥＤ使用手順	10.31	7	認知症について
5.17	8	虐待に関すること	11. 7	7	救急法について
6.29	8	口腔ケアについて	12.12	7	介護職員処遇改善について
7.12	8	熱中症について	H29. 1.26	7	サービス評価について
8.14	5	感染症対策について	2.12	7	事業所自己評価
9.13	5	高齢者の尊厳について	3.13	6	リスクマネジメントについて

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①各職員が利用者の意思や意向を尊重し思いやりを大切に言葉遣い、環境整備､整容に心がけ快適に過ごして頂けるように努める｡(評価４５点満点中　S:４３点以上　A：４２～４０点　B：３９～３７点　C：３６～３４点　D：３３点以下)	A	A	A	A	A
②職員間で情報共有し伝達体制を強化しサービスの質の向上を図る。(連携ミス回数　S：なし　A：1回　B：2回　C：3回　それ以上：D)	B	A	B	A	B
③定期的に地域住民との交流会や地域行事に参加し地域の方との触れ合いをする機会を増やし親睦を図る。(３ヶ月での実施回数　S：４回以上　A：３回　B：２回　C：１回　D：それ以下)	A	S	A	A	A
④安全でゆとりのある送迎車両の運転に心がけ､無事故･無違反に努める（３ヶ月間　S：無事故・無違反　A：ヒヤリはっと報告があった　B：自損事故発生　C：人身事故発生　D：利用者怪我)	S	S	S	S	S

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	25	25	26	26	27	27	27	28	28	28	28	29	324
実績	24	25	24	24	25	25	25	25	25	23	24	24	293

【総括】

年間通して登録者数２４名を維持し利用率８割超で推移しました。徐々に平均介護度の低下が見られましたが前年度よりも登録者数の確保が出来ました。職員間の連携を密に情報共有しながら介護サービスの質の向上を目指し取り組んでいます。定期的に地域交流会を開催し地域の方と時間を共にする機会が増えました。地域に根差した施設を目指しより一層親睦を図り地域に信頼されるよう努めて参ります。

水戸市常澄高齢者支援センター

相談者調（実態把握調査含）

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
地区	稲荷第一	6	4	3	2	0	0	2	1	3	4	2	1	28
	稲荷第二	2	0	1	1	2	1	4	0	0	0	0	1	12
	下大野	6	2	1	2	0	0	1	0	1	0	1	3	17
	大場	2	0	2	0	1	1	2	0	1	0	4	2	15
	圏域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		16	6	7	5	3	2	9	1	5	4	7	7	72

年齢別利用者構成

年齢別／性別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	5	7	10	1	1	24
女	0	5	3	8	17	10	4	1	48
計	0	5	3	13	24	20	5	2	72

年齢／性別	最高	最低	平均
男	97	75	83.3
女	95	66	81.8
全体	97	66	82.5

相談内容内訳

相談内容＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談支援	ひとり暮らし	7	6	16	4	11	11	6	6	10	6	8	5	96
	高齢世帯	4	3	7	5	6	4	3	11	14	10	6	2	75
	介護予防	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	施設入所	9	8	7	3	10	7	13	7	3	0	2	5	74
	介護方法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	認知症	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
	精神疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	福祉・保健サービス	22	24	28	17	11	17	31	14	13	28	40	35	280
	医療	3	5	0	1	2	0	0	3	4	3	1	1	23
	住まい・住宅改修	0	2	8	5	0	0	0	0	6	6	0	6	33
	経済状態	0	1	0		0	0	3	0	2	0	2	4	12
	家族状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活関連	6	13	7	15	14	28	27	29	16	32	14	5	206

2次予防事業		0	0	0	0	0	5	0	1	20	0	2	0	28
権利擁護	虐待関連	0	0	0	6	0	0	1	1	0	0	0	0	8
	虐待の届出・通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虐待応協議、立入、保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常生活自立支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアマネ相談		1	0	0	4	0	0	1	6	1	0	0	0	13
地域ケア個別会議		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計		52	62	78	60	54	72	85	79	90	85	75	69	861

会議等参加状況

年月日	会議名	参　加　者	内　　容
H28. 4. 4	市民センター長会議	梅井	自己紹介、センター PR
4.11	常澄地区民生委員協議会定例会	梅井、荻沼	自己紹介、センター PR
4.13	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
4.19	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
5.10	常澄地区民生委員協議会定例会	梅井、荻沼	講座案内、個別相談会
5.11	常澄地区地域ケア個別会議	梅井、荻沼	見える事例検討会
5.17	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
5.18	GH あすなろ運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
5.20	GH ぐるんぱんの杜運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
5.27	水戸市地域包括支援センター運営協議会	梅井	実績報告、協議事項
5.31	GH メロン運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
6. 9	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
6.12	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
6.21	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
7. 5	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
7.11	DS 百合が丘運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
7.13	常澄地区地域ケア個別会議	梅井、荻沼	見える事例検討会
7.19	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
7.23	GH ぐるんぱの杜運営推進会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
7.27	GH メロン運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
8.10	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
8.16	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
8.23	DS つねずみ接骨院運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項

9. 6	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
9.14	常澄地区地域ケア個別会議	梅井、荻沼	見える事例検討会
9.27	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
10. 5	DS ピースフルウッズ東前運営推進会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
10.11	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
10.12	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
10.18	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
10.28	水戸市地域包括支援センター運営協議会	梅井	中間実績評価、協議事項
11. 8	常澄地区民生委員協議会定例会	梅井、荻沼	講座案内、個別相談会
11. 9	常澄地区地域ケア個別会議	梅井、荻沼	見える事例検討会
11.15	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
11.18	GH ぐるんぱの杜運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
11.24	GH メロン運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
12. 5	DS 百合が丘運営推進会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
12.16	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
12.20	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
12.21	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
H29. 1.11	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
	常澄地区地域ケア個別会議	梅井、荻沼	見える事例検討会
1.17	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
1.20	GH ぐるんぱの杜運営推進会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
1.24	DS つねずみ接骨院運営推進会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
1.25	GH メロン運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
2. 8	常澄地区民生委員協議会定例会	荻沼	講座案内、個別相談会
	常澄地区地域ケア会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
2.16	水戸市地域包括支援センター運営協議会	梅井	実績評価、協議事項
2.17	GH あすなろ運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
2.21	地域包括支援センター連絡会議	荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
3. 1	水戸市生活支援体制整備事業に係る協議体キックオフ会議	梅井	事業説明
3. 8	DS ピースフルウッズ東前運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
	常澄地区地域ケア個別会議	梅井	見える事例検討会
3.15	GH あすなろ運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
3.17	GH ぐるんぱの杜運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項
3.21	地域包括支援センター連絡会議	梅井、荻沼	実績報告、連絡事項、協議事項
3.22	GH メロン運営推進会議	梅井	実績報告、連絡事項、協議事項

研修報告

年月日	参　加　者	場　　所	内　　容
H28. 5.11	荻沼　健太	堀原市民センター	消費者トラブル予防講座
6.12	梅井、荻沼	茨城県健康プラザ	茨城県地域包括・在支連現任者研修
6.20	梅井、荻沼	水戸市医師会館	水戸市医師会事例検討会
7.11	荻沼　健太	市町村会館	茨城県認知症担当者研修
8.24	荻沼　健太	水戸済生会病院	地域で見守る認知症ケア・在宅ケア
9.16	梅井、荻沼	水戸協同病院	茨城県県央地区ソーシャルワーカー協会交流会
10.18	梅井　正道	総合福祉会館	高齢者虐待フォーラム
10.25	荻沼　健太	赤塚ミオス	精神疾患セミナー
11.21	梅井　正道	茨城県健康プラザ	水戸市「介護予防・日常生活支援総合事業」説明会
11.22	梅井　正道	大場市民センター	幸せシニアライフ講座（エンディングノート）
H29.1.19/24	梅井　正道	県庁	茨城県精神障害者生活支援従事者基礎研修
2.27	梅井　正道	水戸協同病院	水戸在宅ケアネットワーク研修会
3. 1	梅井　正道	赤塚ミオス	高齢者虐待に関する研修会
3.16	荻沼　健太	メディカルセンター	道路交通法の一部改正に伴う診断書内容等に係る研修会

企画講座、交流会

年月日	名称	場所	内容	参加者
H28. 5.27	高齢者交通安全教室	稲荷第二市民センター	交通安全教室	６名
7.28	歯つらつ健康講座	下大野市民センター	口腔ケア	３名
9.29	水戸市配食サービス試食交流会	水工スクエア	弁当試食、交流	８８名
10.15	介護相談会（秋祭り）	グリーンハウスみと	高齢者相談会	２名
10.28	第一回シニア男性の料理教室	稲荷第二市民センター	調理実習	７名
11.16 ～ 11.20	常澄地区高齢者作品展	トゥルーケア事務所	展覧会	１２８名
11.25	第一回認知所介護講座	稲荷第二市民センター	認知症介護	１３名
12.13	第二回シニア男性の料理教室	下大野市民センター	調理実習	２名
H29. 1.31	第二回認知症介護講座	大場市民センター	認知症介護	２５名
2.22	第三回シニア男性の料理教室	大場市民センター	調理実習	４名
3. 8	常澄地区民生委員・介護事業所交流会	稲荷第一市民センター	交流会	３９名
3.15	在宅医療と介護のお話し会	稲荷第一市民センター	医療と介護の座談会	９名
3.22	第三回認知症介護講座	下大野市民センター	認知症とは	１２名

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①相談機関の普及及び早期在宅介護支援として、認知症カフェ及び家族介護教室等を企画・運営する。（３ヶ月で実施できた回数　S：２回以上　A：１回　D：未実施）	A	A	A	A	A
②支援困難事例のケアマネジメント支援及び地域課題の把握のため「地域ケア個別会議」を開催する。（３ヶ月間で実施できた回数　S：４回以上　A：３回　B：２回　C：１回　D: 未実施）	A	S	S	S	A
③内・外部研修への参加等による自己研鑽を怠ることなく、専門職としての資質向上につとめる。　（３ヶ月間で参加できた回数　S：４回以上　A：３回　B：２回　C：１回　D：不参加）	A	A	S	S	A

【総括】

平成２８年度は事業開始２年目ということで、これまでのセンターの普及活動や総合相談支援、権利擁護業務を継続して行うとともに「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症地域支援・ケア向上事業」の２つの事業に関する業務が新たに追加となり取り組んでまいりました。

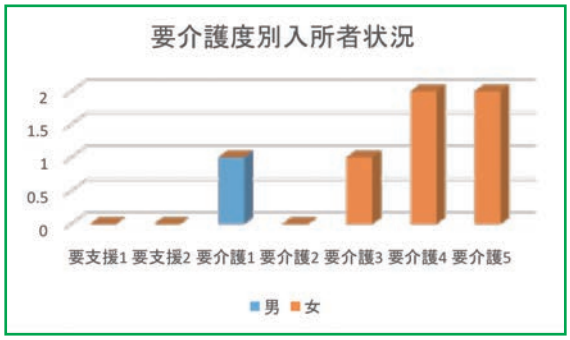
各市民センターでの講座、地域ケア会議の開催、地域高齢者の作品展の開催など地域の皆様に多数参加いただきながら企画を実施してまいりました。地域との連携も少しずつ深まり、共催や個別ケースへの協力が実施できております

次年度は、「認知症」に係る重点項目が掲げられており、ますます地域住民、事業者の皆様との連携を深め、地域課題を共有しながら貢献できる取り組みを実践してまいります。

サービス付き高齢者向け住宅・通所介護　ケアセンターいずみ

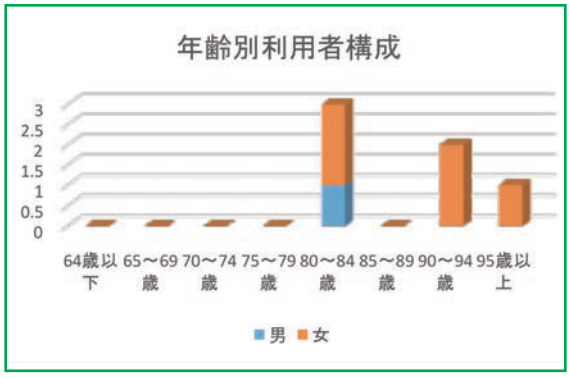
要介護度別入所者状況

性別＼要介護	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	0	0	0	0	1
女	0	0	0	0	1	2	2	5
計	0	0	1	0	1	2	2	6
平均介護度	3.6							



年齢別利用者構成

性別＼年齢別	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	0	0	2	0	2	1	5
計	0	0	0	0	3	0	2	1	6



性別＼年齢	最高	最低	平均
男	82	82	82
女	98	80	89
全体	98	82	87.8

主な行事内容

敬老祝賀会

ハーモニーせせらぎ

クリスマス会

節分豆まき

おやつ作り

年間サービス実施目標

目　　標	6月評価	9月評価	12月評価	3月評価	年間評価
①安定した収入確保のため、入所率向上を図る。 （入所率　S：９０～１００％　A：８０～８９％ B：７０～７９％　C：６０～６９％　D：５９％以下）	B	B	B	C	C
②利用者の意思が尊重され、心身共に健康的な生活となるよう、日々の健康管理と見守りを徹底する。 （３か月での入院者数　S：０名　A：１名　B：２名　C：３名 D：４名）	B	S	S	S	A
③本部との連携を密に図り、提出物等期限を厳守する。 （遅延件数　S：０件　A：１件　B：２件　C：３件　D：４件以上）	S	S	S	S	S

通所介護利用状況（サ高住入居者含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目標	150	155	150	186	186	180	186	180	186	217	196	217	2,189
実績	210	186	180	186	186	185	217	186	155	186	168	186	2,231

【総括】

定員９名満床に年間を通して達成する事が出来ませんでした。入居条件等の見極めを行いながら今後は、満床に向けた入居者確保に努めていきたいと思います。
入居者も要介護度が高く高齢でもあるため、日々の健康管理に留意し長期で入居して頂くための早期発見早期対応にも引き続き努めていきます。